

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 平成31年度 事業計画・収支予算

平成31年度 産業廃棄物行政担当者名簿
平成31年度 産業廃棄物に係る講習会日程（愛知会場）
産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催
一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第7回「安全大会」開催



名古屋市農業センターdelaふぁーむ しだれ梅



一般社団法人

愛知県産業廃棄物協会

<http://www.aisankyoku.com> E-mail: info@aisankyoku.com



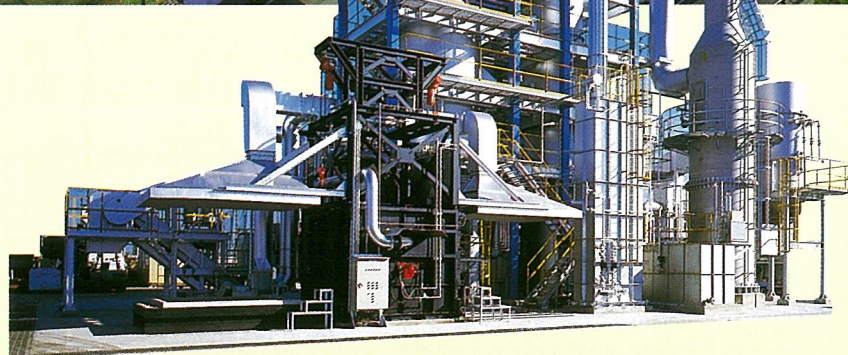
4つの焼却システムで多種類の廃棄物を完全燃焼 環境管理も最新設備で万全

●ロータリーキルン炉による焼却

●バーナー噴霧による焼却

●台車炉による焼却

●揺動式ストーカー炉による焼却



近藤産興の
産業廃棄物焼却プラント
飛島工場

近藤産興株式会社

〒457-8535 名古屋市南区浜田町1-10
TEL.052-614-2511 FAX.052-611-5826

飛島工場

〒490-1435 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷字東梅15
TEL.05675-5-2847 FAX.05675-5-0506



MEIKI
CLEANER

わたしたちにできること。

お客様のために。その先にいるお客様のために。「私たちの成長が、未来をもっと良いものにする。」

その想いを胸に、リサイクルへの架け橋として 日々成長し続けています。



環境の未来をいちばんに考え、
あらゆる分野の廃棄物の処理システムをご用意しています。



焼却



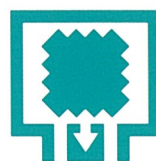
油水分離
脱水・中和



圧縮梱包



選別



減容固化



破碎

一般・産業廃棄物処理許可業者

株式
会社

明輝クリーナー

URL <http://www.meiki-c.com/>
MAIL meiki@lilac.ocn.ne.jp



本社

〒441-8123 愛知県豊橋市若松町字中山101-34
TEL.0532-25-1026(代) FAX.0532-25-1227

原町工場

〒441-3111 愛知県豊橋市原町字南山1-99
TEL.0532-41-7530 FAX.0532-43-0165
ヨイナゴミヤロ

循環型社会
推進企業をめざす

ASS
AMA SEISOU

廃棄物を明日に残さない
環境保全の約束です。

明日を
ベストゼロエミッション。

《14年対応最新設備の燃焼施設完成》

収集運搬



選別

再資源化



焼却



株式会社
海部清掃

■本社／愛知県あま市西今宿平割二6番地
TEL.052-441-5353 FAX.052-441-5427
<http://amaseisou.co.jp>
■リサイクルセンター／愛知県あま市ニツ寺上長2番1号
TEL.052-442-8493 FAX.052-442-8508

業 務 内 容	産業廃棄物許可		特別管理産業廃棄物許可		一般廃棄物許可	
	収集運搬	愛知県・岐阜県・三重県・長野県	収集運搬	愛知県・岐阜県・三重県・長野県	収集運搬	あま市・愛西市・一宮市・稲沢市・大治町・春日井市・蟹江町・北名古屋市・清須市・津島市・弥富市
	処 分	愛知県 ・中間処分／圧縮、圧縮・選別、 焼却、選別、破碎、破碎・選別	処 分	愛知県 ・中間処分／焼却	処 分	あま市 ・中間処分／焼却、破碎、選別



資源循環型社会構築を応援します。

(一社) 愛知県産業廃棄物協会賛助会員

Topic

有限会社 トピック

〒466-0815 名古屋市昭和区山手通5-33-2
八事中央ビル402

TEL.(052)833-5238 FAX.(052)833-5239

E-mail : topic@k4.dion.ne.jp

● 広告企画制作、パンフレット、社内報などPRに関するデザインから印刷まで受け賜ります。

人と自然のために...

「限られた資源を活かして使う」をテーマに
ダイセキグループは最新設備と高い技術力で
[資源循環型社会の構築]に貢献してまいります。

廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥の処理および資源リサイクル



[名古屋事業所リサイクルセンター]



Daiseiki

株式会社 **ダイセキ**

ホームページ <http://www.daiseiki.co.jp>

〒455-8505 名古屋市港区船見町1-86
TEL(052)611-6321 FAX(052)611-0160

<事業所ネットワーク>

名古屋事業所	名古屋市港区船見町1-86	TEL(052)611-6321
北陸事業所	石川県白山市相川新町631-1	TEL(076)275-6585
関西事業所	兵庫県明石市二見町南二見21-6	TEL(078)949-1180
九州事業所	北九州市若松区南二島4-13-3	TEL(093)701-2016
関東事業所	栃木県佐野市西浦町570-1	TEL(0283)24-8006
千葉事業所	千葉県袖ヶ浦市南袖23-8	TEL(0438)62-8798

土壌汚染の調査・浄化・無害化の一貫処理および資源リサイクル



[名古屋リサイクルセンター]

株式会社 ダイセキ環境ソリューション

〒455-0027 名古屋市瑞穂区明前町8-18
TEL(052)819-5310 FAX(052)819-5311
<http://www.daiseiki-eco.co.jp>

廃石膏ボードの資源リサイクル



[グリーンアローズ中部]

株式会社 グリーンアローズ中部

〒455-0027 愛知県東海市ホノ割213-7
TEL(052)689-3501 FAX(052)604-1558
<http://www.daiseiki-eco.co.jp/gac>

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会

平成31年度 事業計画・収支予算	2
------------------	---

行政ニュース

平成31年度 産業廃棄物行政担当者名簿	9
---------------------	---

協会ニュース

平成31年度 産業廃棄物に係る講習会日程(愛知会場)	10
産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催	11
一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第7回「安全大会」開催	12
「2019愛知環境賞」表彰式	13
平成30年度中部地域協議会第2回全体会議	14
環境省主催 産業廃棄物処理に係る意見交換の場	16
産業廃棄物処理に係る「第26回 実務者研修会」開催	19
豊田市主催 産業廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理講習会	20
岡崎市主催 産業廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理セミナー2019	21
平成30年度暴力追放セミナー報告	22
第3回安全衛生委員会「安全衛生活動の取組 視察・研修」開催	23
モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画を実施	24

支部・青年部ニュース

名古屋支部、尾張西支部、尾張北支部、尾張南支部、東三河支部、青年部	26
-----------------------------------	----

フレッシュ社員レポート

私たちが創ります 地球に優しい未来社会を!	34
-----------------------	----

安全衛生情報

産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例／(株)明輝クリーナー	42
---	----

企業訪問 資源循環レポート

経営理念は「資源に無限の夢を。」	
社員全員の物心両面の充足と幸せを実現し百年企業を目指す。／アルメック(株)大府工場	44

新会員紹介

<正会員> (株)環境むかい、マルカ建設(株)、(株)IMAZ	46
---------------------------------	----

事務局だより

理事会報告・会員情報の変更	51
---------------	----

連載

JUNKAN AICHI 女子駅伝／(株)アグメント	48
法律診断 健康診断 全員受診しました! それで… 労働時間把握義務	50
社会保険労務士 特定行政書士 牟田美智代事務所	

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 平成31年度 事業計画・収支予算

定款に基づき平成31年3月15日に開かれた平成30年度第6回理事会において審議が行われ、了承されました。

平成31年度 事業計画

はじめに

昨年を振り返りますと、1月31日に環境省が廃棄物規制課内に「産業廃棄物処理振興チーム」を設置し、「全産連の要望、優良化認定制度の見直し、振興方策提言の具体化」について検討し、出来ることから実施していく方針を打ち出しています。平成31年2月5日には環境省主催の「産業廃棄物処理に係る意見交換の場」が設けられ、従来の規制行政の範囲を越えて、業界全体の振興を目指すもので、環境省だけでなく、都道府県等の行政の知見を踏まえつつ処理業者のニーズを受け止めながら検討を行う事が肝要との認識から、全産連の要望を受け開催されたものです。この意見交換の場は、平成30年11月2日に福岡県で開催された九州地域協議会、11月22日神奈川県で開催された関東地域協議会に次いで、3回目の開催となりました。中部地域協議会では開催県だけでなく、協議会の行政区域である愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の4県及び中核市の方々に声がけをし、参加していただきました。環境省から膝を交えて意見交換をしたいということで、活発な意見交換が行われ、忌憚のない意見が飛び交う有意義な意見交換の場となりました。

また、昨年の10月25日には産業・資源循環議員連盟プロジェクトチームの第1回目の会合が開かれ、業界の最重要課題である「人材の育成・確保」と「再生品の利用促進」の検討、11月29日には第2回目の会合を開催し、適宜、関係省庁と有識者からヒヤリングを行い、平成30年度内を目途に取りまとめを行うこととしています。このように、産業廃棄物処理業が循環型社会形成のインフラ産業として、業界の益々の振興を目指し、業法の整備に向けた大きな一歩を踏み出したことは大変喜ばしいことだと思っています。本年は、更に一歩進め、具体的な法案検討、そして、国会への法案上程に向けての関係者への働きかけなど、全産連と一体となり、

実現に向け取り組んで行くこととなります。

さて、昨年7月に発生した西日本豪雨をはじめとする水害や土砂災害が各地で発生し甚大な被害に見舞われました。また、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震を始め、震度5強以上の地震が全国各地で発生しています。膨大な災害廃棄物が発生し、今もなお、その処理が続いております。一刻も早い被災地の復興を願っています。

この地方でも、南海トラフ巨大地震が、今後30年以内に70%から80%の確率で発生すると言われています。

この南海トラフ巨大地震による建物被害や人的被害は甚大なものと予測されています。また、発生する災害廃棄物は最大約3億5千万トンとも推定されています。

自然災害が生じた場合に、いち早く的確な災害復旧、復興を図るためには、我々業界が緊急応急対策として災害廃棄物処理を担って行かなければならない使命があります。

そのためには被災した場合もいち早く事業を再開できる様、業務継続計画（BCP）を策定し、不断の心掛けに努める必要があります。

当協会では、万一被災にあった場合に、迅速かつ適正に対応していくために、「災害廃棄物処理対策に関する特別委員会」を中心として、平成27年3月にBCPを策定しています。

支部では、市町村との顔の見える関係の構築を目指し、万全な備えとなるよう取組を進めています。

協会を上げ、県内全54市町村と締結した協定に基づき、着実な防災体制を築き上げていく所存であります。

あってはならないことですが万一被災した場合には、会員の皆様が日頃培った分別・収集、処理のノウハウや会員企業が持つ資機材の活用と機動力が是非とも必要であり、災害発生時には、全面的な支援・

協力をお願いしたいと考えています。

一方、当業界を取り巻く景況動向は、廃棄物そのものの量が減少しており、引き続き厳しい経営環境となっております。この様な厳しい経営状況の中にあっても、我々は将来の事業を担う人材の確保・育成を図り、優良産業廃棄物処理業者の育成など、将来に向け生き残りをかけた取組を積極的に進めていく必要があります。

また、私どもの業界は、日々排出される多種多様な廃棄物の適正処理や資源リサイクルの取組を積極的に進めており、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であることは言うまでもありません。このことを地域社会の人々に、正しく評価・理解していただくため、会員の皆様と一体となって、各種イベントへの参画・PR、行政・地元住民と協働しての不法投棄廃棄物撤去作業の実施や、親子ツアーによる会員企業の資源リサイクル施設の見学等、地域の理解を得る取組を引き続き積極的に進めてまいります。

こうした社会情勢等を踏まえ、平成31年度は、全会員の支援と協力の下、以下の重点施策に取り組むこととします。

1 廃棄食品が不適正に転売された事案に係る再発防止の推進

平成28年1月に当協会の会員が起した廃棄食品が不適正に転売された事案により、産業廃棄物処理業界に対する社会的信頼が大きく失墜し、協会に対して、再発防止への取組が問われています。

平成28年2月12日付けで、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長に提出した「廃棄食品が不適正に転売された事案に係る再発防止について(回答)」に基づき、昨年度に引き続き、再発防止の推進に势力的に取り組むとともに、産業廃棄物処理業界に対する社会的信頼の回復に努めていく。

2 大規模災害時の災害廃棄物処理支援体制の整備

当地域においても、南海トラフを震源とする巨大地震が今後30年以内に発生する確率が70%から80%と言われており、平成27年10月に導入した緊急通報・安否確認システムの運用方法の整備、会員への周知及び定期的な訓練の実施、会員への資機材調査、県内全54市町村と締結した災害廃棄物処理等に関する協定の実効性を高めるために、各市

町村と顔の見える関係を構築するなど、平成27年3月に策定した業務継続計画(BCP)を中心に据えた行政等関係機関との連携等の推進、大規模災害時に備えた災害廃棄物処理活動の体制を引き続き整備していく。

3 各種研修事業に係る取組の充実強化

(1) 産業廃棄物処理に係る実務者研修会

本年度も産業廃棄物処理業界への信頼性の向上を図り、これから業界を担っていく若い人材の育成を図っていくため、業界の実務担当者を対象とした「実務基礎コース研修会」を開催する。過去26回の研修会において、3,301名の会員及び排出事業者の方に廃棄物処理の基本となる法令、委託契約、産業廃棄物管理票、帳簿等に関し理解を深めていただいたところであるが、平成28年のダイコー(株)の不適正処理事案を契機に協会が主催する実務者研修会や協会の支部が主催する法令講習会等に3年に1回は必ず参加することを誓約していただいております。昨年度が3年目であったが、一部未受講の会員があったことから、今年度には必ず受講していただくよう(公社)全国産業資源循環連合会発行の「産業廃棄物処理実務者研修会基礎コーステキスト」の他、パワーポイントによる分かりやすい教材を作成し、この事業に積極的に取り組んでいく。

また、昨年度に引き続き、出張研修なども積極的に取り組んでいく。

(2) 安全衛生教育・研修

何事にも増して優先されるべき「安全第一」の取組を推進するため、昨年度に引き続き、会員等の安全衛生の向上に資する各種諸事業を実施し、他業種に比べ事故が多いと言われている当業界の安全衛生の向上に努めていく。

その一環として、本年度も新入社員への安全衛生教育・研修や職長クラス的安全衛生教育・研修、産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修、安全大会を実施していく。また、会員企業における安全衛生の取組状況の視察についても企画していく。

中央労働災害防止協会と連絡を密にし、新しい支援事業があれば会員の安全衛生活動に寄与できるように積極的に活用していく。今年度は、中央労働災害防止協会の中小規模安全衛生サポート事業を会員企業にPRし、一社でも多くサポー

ト事業を活用していただけるよう積極的に働き掛けを行う。

また、公益社団法人全国産業資源循環連合会では平成29年度を初年度とする「産業廃棄物処理業における労働災害防止計画」を策定し、平成31年度の計画期間中の労働災害による死亡者数をゼロにすることや休業4日以上死傷者数を平成24～26年実績平均に対してすべての都道府県において20%以上減少させることを目標に設定しています。これを受け、当協会でも、平成28年度に引き続き、昨年度、安全衛生委員会が中心となり、平成31年度労働災害防止計画を策定し、平成31年度の最終年度の目標である①死亡者数をゼロにする。②休業4日以上死傷者数を平成24～26年実績平均の67人に対して20%以上削減することとし、53人以下とする目標を設定しました。本年度は平成31年度労働災害防止計画を着実に実施し、平成31年度目標を達成する。

(3) エコアクション21認証取得研修

産業廃棄物処理業者の優良認定制度に係る「優良認定業者」育成の一環として、認定基準の一つである環境配慮の取組に関し、昨年度に引き続き、愛知県、名古屋商工会議所と共催し（愛知県が応募する「エコアクション21中央事務局が募集する自治体イニシアティブ・プログラム」に名古屋商工会議所とともに共催する。）愛知環境カウンセラー協会エコアクション21地方事務局あいちの協力を得た「エコアクション21認証取得セミナー」を開催していく。

特に、会員企業に大きな影響を与える「(略称)環境配慮契約法」に適切に対応するためにも、協会として積極的に支援していく。

(4) 電子マニフェストに関する研修

平成30年6月に閣議決定された第四次循環型社会形成推進基本計画では、電子マニフェストの普及率を2022年度において70%に拡大することを目標に掲げられて、環境省では、目標達成のための電子マニフェスト普及拡大に向けたロードマップを平成30年10月に策定し、これに基づいた普及啓発を図るよう関係団体に働きかけを行っている。

これまで関係団体及び各県協会の（公社）全国産業資源循環連合会の電子マニフェストの運用支援受託事業としての電子マニフェストの導入説

明会や操作説明会の開催等の電子マニフェストの普及啓発の取組により、電子マニフェストの普及率は平成30年12月末に57%に到達した。

環境省は「電子マニフェストは産業廃棄物の適正処理や循環型社会の形成に重要な役割を果たしており、今後とも更なる普及とビックデータとしての有効な活用に引き続き取り組んでいきたい。」としており、当協会としては、引き続き、（公社）全国産業資源循環連合会の電子マニフェストの運用支援事業を受託して、電子マニフェストの導入説明会や操作説明会等を開催し、廃棄物処理法の改正により2020年4月1日施行予定の電子マニフェストの一部義務化に対し、円滑に対応できるよう積極的に推進していく。

4 協会PR活動の継続的取組

会員一人ひとりの適正処理に対する日頃の地道な行動の積み重ねが地域社会の信頼向上につながるものであり、そうした努力を一般の人々に知っていただくため、各種マスコミ媒体を通じて協会のPR活動を展開していく。

また、例年好評の「親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」等、子供たちの環境教育等を通じて協会の取組をPRしていく。

その他、環境デーなごや、エコアクション推進フェア Let's エコアクション in AICHI、愛知県及びNPO法人もりの学舎自然学校との協働による環境啓発活動等のイベントに協賛し、地域住民、子供たちとの触れ合いを通じ、当協会をより身近なものとしていく。

さらに、平成26年度から加入している愛知県環境学習施設等連絡協議会（AELネット）を活用し、協会としての環境学習の取組を積極的にPRする。

5 協会設立30周年記念事業の準備

2021年に協会設立30周年を迎えることから、今年度から30周年記念事業の準備に取り掛かる為に準備委員会を組織し、各種事業の計画立案を行う。

以上の施策を重点として、各種の本年度事業を実施していくこととする。

※ 詳細は、協会ホームページ
(<http://www.aisankyoku.com>)
協会案内→公開情報をご覧ください。



【平成31年度 正味財産増減予算書】

自 平成31年4月 1日

至 平成32年3月31日

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会

(単位：円)

科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産運用益	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
入会金収入	300,000	300,000	0	
入会金収入	300,000	300,000	0	
会費収入	73,740,000	73,380,000	360,000	
正会員会費収入	71,280,000	70,920,000	360,000	
賛助会員会費収入	2,460,000	2,460,000	0	
事業収益	31,320,000	32,215,000	△ 895,000	
産業廃棄物管理票普及啓発頒布事業収入	28,900,000	29,875,000	△ 975,000	
研修会等収入	1,288,000	1,208,000	80,000	
機関誌等広告収入	1,132,000	1,132,000	0	
受取補助金等	13,410,000	13,900,000	△ 490,000	
許可講習会等実施協力費	10,500,000	10,500,000	0	
電子マニフェスト加入促進助成費	2,160,000	2,650,000	△ 490,000	
適正処理推進事業等活動支援金	600,000	600,000	0	
全産連委員会等交通費	150,000	150,000	0	
負担金収入	1,750,000	1,750,000	0	
負担金収入	1,750,000	1,750,000	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	480,000	455,000	25,000	
雑収益	480,000	455,000	25,000	
経常収益計	121,000,000	122,000,000	△ 1,000,000	
(2) 経常費用				
事業費	132,989,995	130,511,625	2,478,370	
役員報酬	3,025,000	3,025,000	0	
給料手当	14,037,500	13,185,000	852,500	
臨時雇賃金	300,000	300,000	0	
退職給付費用	452,000	20,000	432,000	
退職共済掛け金	197,463	197,420	43	
法定福利費	2,468,301	2,467,743	558	
福利厚生費	2,076,792	1,976,775	100,017	
会議費	13,269,677	13,278,902	△ 9,225	
旅費交通費	6,472,148	6,136,342	335,806	
通信運搬費	4,291,397	3,399,084	892,313	
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	589,140	589,907	△ 767	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	6,367,420	6,369,726	△ 2,306	
機関誌発行費	6,000,000	6,000,000	0	
図書費	8,112,849	8,114,772	△ 1,923	
普及広報費	2,000,000	2,000,000	0	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	556,231	561,031	△ 4,800	
賃借料	11,764,308	12,078,405	△ 314,097	
保険料	173,710	164,863	8,847	
諸謝金	600,000	500,000	100,000	
租税公課	1,778,280	1,779,817	△ 1,537	
顧問料	0	0	0	
渉外費	534,839	449,544	85,295	
支払負担金	4,000,000	4,300,000	△ 300,000	
支払助成金	15,000,000	14,700,000	300,000	
支払寄付金	0	0	0	
委託費	6,700,000	6,700,000	0	
産業廃棄物管理票仕入れ費	19,312,740	19,965,600	△ 652,860	
有価証券運用損	0	0	0	
雑費	2,910,200	2,251,694	658,506	

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会

(単位 : 円)

科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減	備考
管理費	16,010,005	14,488,375	1,521,630	
役員報酬	2,475,000	2,475,000	0	
給料手当	8,412,500	7,715,000	697,500	
臨時雇賃金	0	0	0	
退職給付費用	678,000	30,000	648,000	
退職共済掛け金	162,537	162,580	△ 43	
法定福利費	2,031,700	2,032,257	△ 557	
福利厚生費	63,209	63,225	△ 16	
会議費	130,323	121,098	9,225	
旅費交通費	477,852	403,658	74,194	
通信運搬費	108,603	100,916	7,687	
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	10,860	10,093	767	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	32,580	30,274	2,306	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	67,769	62,969	4,800	
賃借料	995,692	975,939	19,753	
保険料	16,290	15,137	1,153	
図書費	27,150	25,228	1,922	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	21,720	20,183	1,537	
顧問料	0	0	0	
渉外費	65,160	50,456	14,704	
支払負担金	0	0	0	
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
有価証券運用損	0	0	0	
雑費	233,060	194,362	38,698	
経常費用計	149,000,000	145,000,000	4,000,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 28,000,000	△ 23,000,000	△ 5,000,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 28,000,000	△ 23,000,000	△ 5,000,000	
2. 経常外増減の部			0	
(1) 経常外収益			0	
(該当なし)	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用			0	
(該当なし)	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額			0	
当期正味財産増減額	△ 28,000,000	△ 23,000,000	△ 5,000,000	
口予備費支出	4,595,618	1,382,213	3,213,405	
予備費	4,595,618	1,382,213	3,213,405	
当期経常増減額	△ 32,595,618	△ 24,382,213	△ 8,213,405	
前期繰越収支差額	62,595,618	54,382,213	8,213,405	注2
次期繰越収支差額	30,000,000	30,000,000	0	

注1) 収支予算書は、「公益法人会計基準(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)」により、損益ベースで作成しています。また、事業費は、管理費の一部を割掛けした後の数値です。

注2) 事業安定積立金30,000,000円を前期繰越収支差額に計上しています。

【平成31年度 正味財産増減予算書 内訳表】

自 平成31年4月 1日
至 平成32年3月31日

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会

(単位:円)

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引控除	合計
	経1 調査研究事業	経2 相談指導事業	経3 普及啓発事業	小計	他-1 マニフェスト講習会	他-2 研修・厚生事業等	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入会金収入	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	0	300,000
入会金収入	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	0	300,000
会費収入	0	0	0	0	0	73,740,000	73,740,000	0	0	73,740,000
正会員会費収入	0	0	0	0	0	71,280,000	71,280,000	0	0	71,280,000
賛助会員会費収入	0	0	0	0	0	2,460,000	2,460,000	0	0	2,460,000
事業収益	0	0	0	0	28,900,000	2,420,000	31,320,000	0	0	31,320,000
産業廃棄物管理票普及啓発頒布事業収入	0	0	0	0	28,900,000	0	28,900,000	0	0	28,900,000
研修会等収入	0	0	0	0	0	1,288,000	1,288,000	0	0	1,288,000
機関誌等広告収入	0	0	0	0	0	1,132,000	1,132,000	0	0	1,132,000
受取補助金等	0	0	0	0	12,660,000	750,000	13,410,000	0	0	13,410,000
許可講習会等実施協力費	0	0	0	0	10,500,000	0	10,500,000	0	0	10,500,000
電子マニフェスト加入促進助成費	0	0	0	0	2,160,000	0	2,160,000	0	0	2,160,000
適正処理推進事業等活動支援金	0	0	0	0	0	600,000	600,000	0	0	600,000
全産連委員会等交通費	0	0	0	0	0	150,000	150,000	0	0	150,000
負担金収入	0	0	0	0	0	1,750,000	1,750,000	0	0	1,750,000
負担金収入	0	0	0	0	0	1,750,000	1,750,000	0	0	1,750,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	480,000	480,000	0	0	480,000
雑収益	0	0	0	0	0	480,000	480,000	0	0	480,000
経常収益計	0	0	0	0	41,560,000	79,440,000	121,000,000	0	0	121,000,000
(2) 経常費用										
事業費	28,835,028	4,624,504	10,566,370	44,025,902	43,675,260	45,288,833	88,964,093		0	132,989,995
役員報酬	110,000	990,000	550,000	1,650,000	1,100,000	275,000	1,375,000			3,025,000
給料手当	151,000	2,219,000	555,000	2,925,000	10,395,000	717,500	11,112,500			14,037,500
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	300,000	300,000			300,000
退職給付費用	0	113,000	113,000	226,000	226,000	0	226,000			452,000
退職共済掛金	2,519	38,215	12,595	53,329	129,975	14,159	144,134			197,463
法定福利費	31,489	477,692	157,445	666,626	1,624,690	176,985	1,801,675			2,468,301
福利厚生費	980	14,861	4,899	20,740	50,546	2,005,506	2,056,052			2,076,792
会議費	394,720	37,644	126,012	558,376	355,521	12,355,780	12,711,301			13,269,677
旅費交通費	1,300,641	138,028	755,374	2,194,043	1,373,578	2,904,527	4,278,105			6,472,148
通信運搬費	1,195,600	31,370	71,676	1,298,646	2,396,268	596,483	2,992,751			4,291,397
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0			0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0			0
消耗品費	19,560	3,137	7,168	29,865	29,627	529,648	559,275			589,140
修繕費	0	0	0	0	0	0	0			0
印刷製本費	5,258,680	9,411	21,503	5,289,594	288,881	788,945	1,077,826			6,367,420
機関誌発行費	6,000,000	0	0	6,000,000	0	0	0			6,000,000
図書費	6,548,900	147,842	17,919	6,714,661	74,067	1,324,121	1,398,188			8,112,849
普及広報費	0	0	1,400,000	1,400,000	0	600,000	600,000			2,000,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0			0
光熱水料費	122,054	19,575	44,725	186,354	184,871	185,006	369,877			556,231
賃借料	1,793,307	287,007	907,144	2,988,058	3,076,250	5,700,000	8,776,250			11,764,308
保険料	29,340	4,706	10,751	44,797	44,440	84,473	128,913			173,710
諸謝金	0	0	0	0	0	600,000	600,000			600,000
租税公課	39,120	6,274	14,335	59,729	1,659,254	59,297	1,718,551			1,778,280
顧問料	0	0	0	0	0	0	0			0
渉外費	117,360	18,822	43,006	179,188	177,761	177,890	355,651			534,839
支払負担金	0	0	0	0	0	4,000,000	4,000,000			4,000,000
支払助成金	0	0	5,200,000	5,200,000	0	9,800,000	9,800,000			15,000,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0			0
委託費	5,300,000	0	400,000	5,700,000	0	1,000,000	1,000,000			6,700,000
産業廃棄物管理票仕入れ費	0	0	0	0	19,312,740	0	19,312,740			19,312,740
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0			0
雑費	419,758	67,320	153,818	640,896	875,791	1,393,513	2,269,304			2,910,200

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引控除	合計
	経1 調査研究事業	経2 相談指導事業	経3 普及啓発事業	小計	他-1 マニフェスト講習会	他-2 研修・厚生事業等	小計			
管理費								16,010,005	0	16,010,005
役員報酬								2,475,000		2,475,000
給料手当								8,412,500		8,412,500
臨時雇賃金								0		0
退職給付費用								678,000		678,000
退職共済掛け金								162,537		162,537
法定福利費								2,031,700		2,031,700
福利厚生費								63,209		63,209
会議費								130,323		130,323
旅費交通費								477,852		477,852
通信運搬費								108,603		108,603
減価償却費								0		0
消耗什器備品費								0		0
消耗品費								10,860		10,860
修繕費								0		0
印刷製本費								32,580		32,580
燃料費								0		0
光熱水料費								67,769		67,769
賃借料								995,692		995,692
保険料								16,290		16,290
図書費								27,150		27,150
諸謝金								0		0
租税公課								21,720		21,720
顧問料								0		0
渉外費								65,160		65,160
支払負担金								0		0
支払寄付金								0		0
支払利息								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費								233,060		233,060
経常費用計	28,835,028	4,624,504	10,566,370	44,025,902	43,675,260	45,288,833	88,964,093	16,010,005	0	149,000,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 28,835,028	△ 4,624,504	△ 10,566,370	△ 44,025,902	△ 2,115,260	34,151,167	32,035,907	△ 16,010,005	0	△ 28,000,000
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 28,835,028	△ 4,624,504	△ 10,566,370	△ 44,025,902	△ 2,115,260	34,151,167	32,035,907	△ 16,010,005	0	△ 28,000,000
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
（該当なし）				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
（該当なし）				0			0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0			0			0
当期正味財産増減額	△ 28,835,028	△ 4,624,504	△ 10,566,370	△ 44,025,902	△ 2,115,260	34,151,167	32,035,907	△ 16,010,005	0	△ 28,000,000
口予備費支出	0	0	0	0	0	4,595,618	4,595,618	0		4,595,618
予備費	0	0	0	0	0	4,595,618	4,595,618	0		4,595,618
当期経常増減額	△ 28,835,028	△ 4,624,504	△ 10,566,370	△ 44,025,902	△ 2,115,260	29,555,549	27,440,289	△ 16,010,005		△ 32,595,618
前期繰越収支差額	40,997,375	6,575,077	15,023,166	62,595,618			0		0	62,595,618
次期繰越収支差額	12,162,347	1,950,573	4,456,796	18,569,716	△ 2,115,260	29,555,549	27,440,289	△ 16,010,005	0	30,000,000

※協会ホームページ (<http://www.aisankyoku.com>)

協会案内→公開情報をご覧ください。



平成31年度 産業廃棄物 行政担当者名簿(○印は新任、昇格者)

■愛知県環境局

役 職 名		氏 名
環境局長		森田 利洋○
技 監		小野 俊之○
環境政策部長		酒井 宣江○
資源循環推進監		加藤 健治○
資源循環推進課長		吉田 幸男○
主 幹 (広域処分・産業廃棄物)		横井 歩○
主 幹 (循環・一般廃棄物)		前田 善明
課長補佐 (調整・広域処分グループ)		高木 貞治○
課長補佐 (産業廃棄物グループ)		中根 知康
課長補佐 (循環グループ)		中原 俊文○
課長補佐 (一般廃棄物グループ)		磯貝 裕文○
廃棄物監視指導室長		近藤 浩史○
室長補佐 (監視グループ)		山神 貴広○
室長補佐 (指導グループ)		西野 正洋○
東三河総局	総局長	藤戸 聡○
	県民環境部長	柴田 敏行
	環境保全課長	石上 隆一○
	主 幹	堀場 正弘○
新城設楽 振興事務所	所 長	原 重人
	環境保全課長	刈谷 良稔
	課長補佐	林 陽一
尾張県民事務所	所 長	原 晃一○
	廃棄物対策課長	森 一耕○
	主 幹	山本 文晴
	課長補佐	棚橋 勝樹○
海部県民 センター	センター長	小島 裕司
	環境保全課長	平野 淳一
	課長補佐	佐藤 弘津偶
知多県民 センター	センター長	浅野 博史
	環境保全課長	野末 治
	主 幹	村上 浩幸○
西三河県民事務所	所 長	加藤 千春○
	廃棄物対策課長	原 浩子○
	主 幹	天野 克則○
	課長補佐	藤田 清久○
豊田庁舎	豊田加茂環境保全課長	藤崎 吉幸○
	課長補佐	天野 高彦

■名古屋市環境局

役 職 名	氏 名
環境局長	水野 裕之
事業部長	市橋 和宜
廃棄物指導課長	中西 岳志○
産業廃棄物審査係長	中村 晃
産業廃棄物指導係長	大島 祥弘
一般廃棄物指導係長	加藤 友一

■豊橋市環境部

役 職 名	氏 名
環境部長	小木曾 充彦
廃棄物対策課長	佐藤 実
主 幹	田村 明浩
課長補佐	金子 雅泰
主 査	兵藤 健太郎○
主 査	竹野 宏
専任主査	鈴木 喜代秀

■岡崎市環境部

役 職 名	氏 名
環境部長	小早川 稔
廃棄物対策課長	柴田 清仁
副課長	木村 敏弘
廃棄物施策係長	畔柳 典生○
污水管理係長	佐藤 卓也
許可監視係長	船山 哲

■豊田市環境部

役 職 名	氏 名
環境部長	田口 厚志
副部長	小澤 都司子○
廃棄物対策課長	神谷 氏年
副課長	倉知 康史○
担当長 (監視・啓発)	宝木 勝朗○
担当長 (審査・PCB対策)	白木 房子○

平成31年度 産業廃棄物に係る講習会日程 (愛知会場)

●受付開始 平成31年4月1日(月)～ (全国一斉)

●講習会の申込方法

・愛知会場分は当協会受付(仮予約)をしています。電話で予約後、受講申込書を作成の上2週間以内にご提出ください。

電話予約先：052-332-0346

●その他

・Web申込みは4月1日から受付をしています。(公財)日本産業廃棄物処理振興センターのホームページをご覧ください。協会への電話予約は不要です。

・(一社)愛知県産業廃棄物協会のホームページ(下記)に講習会の日程と受付状況を掲載いたしておりますのでご覧ください。 http://www.aisankyou.com/sub_menu/pl.html

・各講習会は、定員制で満員になり次第締切りとなります。

・電話で予約された後、2週間以内に受講申込書をご提出ください。



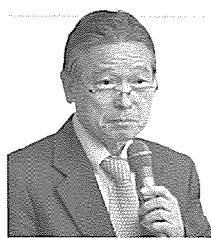
講習課程		2019年度日程	定員	会場名
新規講習会	収集運搬	5月15日(水)～16日(木)	168名	名古屋国際会議場
		8月7日(水)～8日(木)	168名	名古屋国際会議場
		12月17日(火)～18日(水)	168名	名古屋国際会議場
	処分	7月30日(火)～8月1日(木) (両課程の場合)～2日(金)	168名	名古屋国際会議場
	特管・収集運搬	8月20日(火)～22日(木)	168名	名古屋国際会議場
	特管・処分	(2020年)2月17日(月)～20日(木) (両課程の場合)～21日(金)	100名	ウインクあいち
更新講習会	収集運搬	6月19日(水)	168名	名古屋国際会議場
		8月28日(水)	168名	名古屋国際会議場
		10月11日(金)	168名	名古屋国際会議場
		12月20日(金)	168名	名古屋国際会議場
		(2020年)1月28日(火)	168名	名古屋国際会議場
		(2020年)3月4日(水)	100名	ウインクあいち
	処分	7月2日(火)～3日(水)	168名	名古屋国際会議場
特別管理産業廃棄物 管理責任者		6月18日(火)	168名	名古屋国際会議場
		8月27日(火)	168名	名古屋国際会議場
		9月10日(火)	168名	名古屋国際会議場
		9月11日(水)	168名	名古屋国際会議場
		10月10日(木)	168名	名古屋国際会議場
		12月19日(木)	168名	名古屋国際会議場
		(2020年)3月3日(火)	100名	ウインクあいち

NEWS

産業廃棄物処理業における リスクアセスメント研修会開催

(一社)愛知県産業廃棄物協会安全衛生委員会(加山昌弘委員長)及び、6支部(名古屋、尾張西、尾張北、尾張南、西三河、東三河)は、1月29日(火)午前9時30分から名古屋国際会議場 展示室211・212(名古屋市熱田区)において、66社79名参加のもと研修会が開催されました。

開会の挨拶で加山委員長は、「昨年の愛知県の死傷者数は53人でしたが、平成30年11月において76人という数字となり、愛産協が掲げた2割削減という目標の達成が難しい状況です。本日の研修会が今後の労働災害の減少につながることを願っております。」と述べました。



講師の中災防
山口専門役

研修会は、中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター 専門役・安全管理士・衛生管理士 山口好孝氏を講師としてお招きして、「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会」と題して講義がありました。

講義1：産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントの必要性

死傷災害発生状況(平成21年)では、従業員数が10～29人が33.8%、年齢では30～39歳が全体の26.2%となっており、中小規模の事業所における働き盛りの年代に多く見られます。

労働災害に問われる企業の責任として、“安全配慮義務”があり、労働安全衛生のリスクアセスメントの先取り型(労働災害防止のための予防手段)を実施しています。

講義2：リスクアセスメントの基本と実施に向けて
リスクアセスメントの効果としては、職場のリスクが明確になる、リスクに対しての認識を共有、安全対策の合理的な優先順位の決定ができる、費用対

効果の観点から有効な対策が実施できる等が挙げられました。実施時期として、随時の実施(建設物を設置・移転・解体するとき、設備を新規に採用・変更するとき、作業方法や作業手順を新規に採用・変更するとき等)や定期的実施(過去に労働災害が発生した作業、過去に事故のあった設備等を使用する作業、操作が複雑な機械設備等の操作等)、危険性又は有害性の特定、リスクの見積りについて解説がありました。

リスク低減措置の優先順位は、①設計や計画の段階における危険性又は有害性の除去又は低減-危険な作業の廃止、変更、危険性や有害性の低い材料への代替 ②工学的対策-局所式排気装置、防音囲いの設置等 ③管理的対策-マニュアルの整備、立ち入り禁止措置、ばく露管理、教育訓練等 ④個人用保護具の使用-①～③の措置を講じた場合においても除去・低減しきれなかったリスクに対して実施するものに限る、を挙げ可能な限り高い優先順位のリスク低減措置を実施する必要があるとのことでした。

演習では「リスクアセスメントの体験」として、危険性又は有害性の特定(個人作業)、リスクの見積り、リスク低減対策の検討(グループ作業)が行われまとめとしてのコメントが最後に発表されました。清掃作業(ちり等を清掃中、床面につまずきピット内に転倒し足の骨折。)の事例に対してのリスク低減措置案として、まずちりを散らかさない、次にハザードであるつまずきを無くすために、清掃ロボットの導入、重機による清掃作業、ピットへの転落を防ぐための柵の設定(90cmが理想)が発表されました。講義後、渡邊安全衛生副委員長(専務理事)から閉会の挨拶があり研修会は終了しました。

- 研修資料 -

- ・産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント 災害ゼロをめざして!! 及び資料集

NEWS

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第7回「安全大会」開催

1月29日（火）午後1時30分から名古屋国際会議場 展示室211・212（名古屋市熱田区）において93名参加のもと、第7回「安全大会」が開催されました。

安全大会の司会進行は安全衛生委員 近藤大樹氏、開会のことばを安全衛生委員 中嶋政秋氏が述べ、開会の挨拶を会長 永井良一氏、安全衛生委員長 加山昌弘氏が述べました。来賓として愛知労働局労働基準部安全課長 桑原幸弘氏をお招きしました。



講演する中災防
山口専門役

講演会は「産業廃棄物処理事業における労働災害を防止しよう!」と題して、中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター 専門役・安全管理士・衛生管理士 山口好孝氏をお招きしました。

講義の中で労働災害発生の仕組みの中にある「不安全行動」の顕著な例が、昨今注目されているスマホ運転（自動車・自転車）、歩きスマホに見られ、人に対しての教育、KY活動、ルールの徹底が求められています。不安全行動は“非意図的”と“意図的”に分けられ、スマホ運転等は意図的なリスクテイキングと呼ばれ、危ないと知りながら行うという悪質なものです。それを防ぐためには、①知識教育（指導を受けていない、又は忘れる。）②技能教育（できなかった。）③態度教育（やる気がなかった。）の

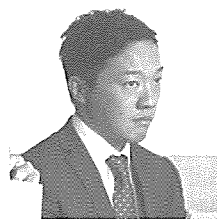


三つに分け、①は繰り返し教育を行い、③は人づくり、しつけを中心に行い、様々な角度から不安全行動を防ぐ人材育成について解説がありました。また、労働災害による事業者の責任は、刑事上の責任、民事上の責任、行政上の責任、社会的な責任等、事業者の安全管理責任を問われます。このような事態を招かないためにも中間管理職の方は、管理監督者に要求される安全管理義務12則を必ず覚えること、と締めめの言葉を述べ講義を終えました。



発表する（株）東伸サービス 松本課長

安全衛生の取組事例発表では、（株）東伸サービスプラント事業部課長 松本幸次氏より「安全衛生に向けて」と題して、社内における実践的な安全教育の取組（フォークリフト安全運転講習 座学・実技、運転技能向上講習、作業場における確認・指差呼称）により社員の安全に対する意識の変化が見られ、継続的に改善していくことが重要であり、プロとして多くのステークホルダーから信頼される会社を目標としている、とのこと。次に（株）明輝クリーナー業務取運事業部 萱間道治氏、再資源化事業部 大塚翔太氏より「職場の安全衛生活動の取り組み」と題して、社内研修における未然防止活動、事故の疑似体験他による外部研修、設備改善、健康管理等について述べ、明輝マインドとして、仕事は予測を立て、作業の理解、施設・車両の構造を熟知する、とのこと。安全宣言は、安全衛生副委員長 平沼辰雄氏の安全宣言の一斉唱和が行われ安全大会は終了しました。



発表する（株）明輝クリーナー 萱間氏

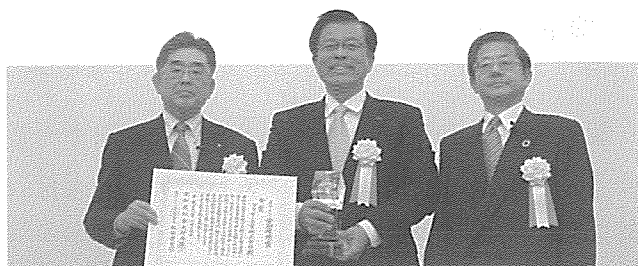


発表する（株）明輝クリーナー 大塚氏

「2019愛知環境賞」表彰式

主催／愛知県 共催／環境パートナーシップ・CLUB、中日新聞

ブラザー工業株式会社



2019愛知環境賞金賞を受賞された
ブラザー工業（株）会長 小池利和氏（中）

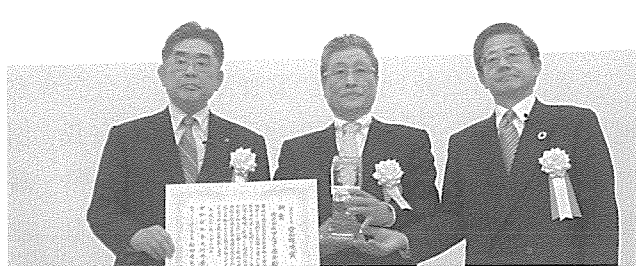
愛知県では、資源の循環や環境負荷の低減を目的とした企業、団体等による先駆的で効果的な「技術・事業」「活動・教育」の事例を募集し、優れた取り組みに対して表彰するとともに、広く紹介することによって、新しい生産スタイルや生活スタイルを文化として社会に根付かせ、資源循環社会の形成を促進することをねらいとして「愛知環境賞」を愛知万博の開催に合わせて2005年から毎年実施しています。

2019愛知環境賞の受賞者（14企業・団体）が決定され当協会のブラザー工業（株）が金賞、（株）マルコー商会が銅賞を受賞されました。

表彰式は、2月14日（木）午後3時15分からローズコートホテル4階ローズルーム（名古屋市中区）にて執り行われました。

式典では主催者である愛知県副知事 森岡仙太氏、共催者の環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）会長 柘植康英氏（東海旅客鉄道（株）代表取締役会長）より挨拶があり、表彰式は森岡副知事より表彰状を授与されました。

ブラザー工業（株）は5年前に「技術・事業」の領域で金賞を受賞されており、今回は「活動・教育」の分野で評価を受け受賞しました。受賞事例の名称は「人づくり、体制づくり、魅力ある活動づくりに努め、



2019愛知環境賞銅賞を受賞された
（株）マルコー商会会長 洪本正克氏（中）

グローバルにつながる生物多様性保全活動」です。

- ・グローバル企業として多くの国や地域で様々な生物多様性保全活動を多様な主体と連携し継続的に実施。
- ・SNSを活用し全世界の人々を対象とした活動や、社員全員参加型の取組を展開。
- ・生物多様性に関する愛知目標及び持続可能な開発目標（SDGs）の達成に大きく貢献するものと高く評価されました。

（株）マルコー商会は一昨年操業を始めた富士見リサイクルセンターにおいて、事例の名称は「混合廃棄物の極限のリサイクルをオープンな『見える化』工場で実現するリサイクル業態改革」です。

- ・建設系混合廃棄物を屋内で効率よく選別する設備を導入し、高い再資源化率を実現。
- ・周辺地域の環境に配慮した機器の設置や作業工程を広く公開。
- ・環境負荷の低減と資源循環型社会の形成に大きく貢献するものと高く評価されました。

表彰式後に慶応義塾大学大学院・メディア研究科教授 蟹江憲史氏により「SDGsの目標達成アクションへ向けて」と題して講演が行われ、式典は終了しました。



平成30年度 中部地域協議会 第2回全体会議

平成31年2月5日（火）午後1時より愛知県名古屋市中区のローズコートホテルにおいて、平成30年度中部地域協議会第2回全体会議が開催されました。

会議には（公社）全国産業資源循環連合会専務理事 森谷 賢氏、同総務部担当部長 古川洋一氏、同主幹 日浦朋子氏をはじめ、中部四県（岐阜県・静岡県・三重県・愛知県）の産業廃棄物協会会長、副会長、理事長、副理事長、理事等28名が出席しました。

はじめに、開催県協会の（一社）愛知県産業廃棄物協会会長であり、また、中部地域協議会会長の永井良一氏から開会挨拶があり、次に（公社）全国産業資源循環連合会専務理事 森谷 賢氏から来賓挨拶がありました。

永井会長からは、『環境省が廃棄物規制課内に「産業廃棄物処理振興チーム」を設置し、「全産連の要望、優良認定制度の見直し、振興方策提言の具体化」について検討し、出来るところから実施していく方針を打ち出しており、本日のこの全体会議の後に予定されている環境省主催の「産業廃棄物処理に係る意見交換の場」は、従来の規制行政の範囲を越えて、業界全体の振興を目指すもので、環境省だけでなく、都道府県等の行政の知見を踏まえつつ処理業者のニーズを受け止めながら検討を行う事が肝要との認識から、全産連の要望を受け開催されるものです。福岡県で開催された九州地域協議会、神奈川県で開催された関東地域協議会に次いで、3回目の開催となり、環境省から皆さんと膝を交えて意見交換をしたいということですので、是非、忌憚のない意見を言っていただきたい。』と環境省との意見交換の場についてお願いがありました。また、業界の最重要課題である「人材の育成・確保」と「再生品の利用促進」について産業・資源循環議員連盟プロジェクトチームで検討されていることの紹介があり、「産

業廃棄物処理業が循環型社会形成のインフラ産業として、業界の益々の振興を目指し、業法の整備に向けての関係者への働きかけなど、全産連と一体となり、実現に向け取り組んでいくこととなる。」との挨拶がありました。

森谷専務理事からは、『連合会における事業の重要事項は何点かありますが、「人材の育成・人材の確保」、「再生品の利用促進」、「労働安全衛生への取組」、「低炭素社会」、「災害廃棄物処理」という言葉がキーワードと思っています。4月から働き方改革の措置が大企業から実行され、中小企業にとっては一年遅れの実施となりますが、中小企業が多い産業廃棄物業界でも何らかの対応を考えなくてはならないと思っています。連合会では働き方改革の影響とか、災害関係について新たに事業計画案の中に盛り込んでいます。5年ほど前に災害廃棄物対策委員会がありましたが、再度、災害廃棄物の委員会を立ち上げようということになりました。また、各県協会と連合会にとって経営が大事でありますので、収入が安定していないと新しい課題にも対応することができないということですので、今年度に新事業を検討するワーキンググループを立ち上げ報告書を纏めました。報告書は協会と連合会の経営を意識したアイデアを集めたもので、一つ一つできるところから実施していかなければならないと考えています。また、連合会の名称を変更したことに合わせて、新しいロゴマークの募集をし、理事会や事務局責任者会議、全国会長理事長会議で絞り込みを行い、3月中に内定できると考えていますが、6月の総会で公表するように準備を進めているので、各県協会でもロゴマークを活用していただくようお願いしたい。』と挨拶がありました。

会議では、永井会長を議長に選出し、配布資料を基に議題について審議が行われました。

- (1) 平成31年度事業計画（案）について
 - (2) 平成31年度収支予算（案）について
 - (3) 平成30年度収支決算見込みについて
 - (4) 平成31年度講習会開催日程表（案）について
 - (5) 平成31年度（公社）全国産業資源循環連合会
会長表彰被候補者の推薦について
- は、すべて原案通り承認されました。



第2回全体会議

その後、森谷専務理事から、（公社）全国産業資源循環連合会地域協議会における資料について説明がありました。

また、意見交換では、愛知県協会の加山安全衛生委員長から全産連の安全衛生委員会副委員長の立場として、各県協会の労働安全衛生の取り組みについて質問があり、各県協会から取り組み内容について報告がありました。また、加山氏から各県協会に職長等安全衛生教育・研修の再教育制度についての周知と災害発生件数が増加している高齢者の労働災害防止についてお願いがありました。また、愛知県協会の中野常務理事からは紙マニフェスト頒布は協会や連合会にとって重要な財源であることから、会員への頒布を促進するために、他社類似マニフェストに対抗した現状の紙マニフェストの使い勝手の改善について連合会に対して提案と要望がありました。

以上をもって、会議が閉会されました。

<出席者>

（公社）全国産業資源循環連合会 専務理事 森谷 賢
総務部担当部長 古川 洋一
主 幹 日浦 朋子

中部地域協議会 会長兼

（一社）愛知県産業廃棄物協会 会 長 永井 良一
副 会 長 小島 晃
副 会 長 平沼 辰雄
専務理事 渡邊 修
常務理事 近藤 千雅
常務理事 中野 兼司
安全衛生委員長 加山 昌弘
福利厚生委員長 金田 英和
収集運搬部会長 西山 幸光
事務局長 小坂 元信

中部地域協議会副会長兼

（一社）岐阜県産業環境保全協会 理事長 粥川 長司
副理事長 澤田 裕二
副理事長 丹羽 武
専務理事 伊藤 誠紀

（公社）静岡県産業廃棄物協会 会 長 鈴木 洋佑
副 会 長 岩間 雄一
副 会 長 新井 康久
副 会 長 渡辺 和良

専務理事兼事務局長 松浦 敏明

（一社）三重県産業廃棄物協会 会 長 木村 亮一
副 会 長 井上 吉一
副 会 長 宮崎 正次
理 事 光友 裕昭
理 事 伊藤 靖則
専務理事 筒井 照雄

環境省主催 産業廃棄物処理に係る意見交換の場

平成31年2月5日（火）午後3時より愛知県名古屋市中区のローズコートホテルにおいて、環境省主催「産業廃棄物処理に係る意見交換の場」が開催されました。

意見交換には環境省から環境再生・資源循環局廃棄物規制課課長 成田浩司氏、同課長補佐 白鳥幹久氏、同主査 服部 弘氏、環境省中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課課長 水原健介氏、同調査官 板倉克宏氏、（公社）全国産業資源循環連合会（以下、「全産連」）専務理事 森谷 賢氏、同総務部担当部長 古川洋一氏、同主幹 日浦朋子氏をはじめ、中部四県（岐阜県・静岡県・三重県・愛知県）の担当者、政令市担当者、産業廃棄物協会会長、副会長、理事長、副理事長、理事等56名が出席しました。

はじめに、主催者である環境省の成田課長から、「今日の意見交換の場の趣旨ですが産廃行政は法律から通知、運用まで含めて色々な論点、課題があります。こういった問題について全産連から国と皆様を含め意見交換をするべきであるとの提案を受け、優良認定制度の見直し、廃プラスチック類に係る処理の状況、産業廃棄物処理業の振興等についての三つのテーマをご用意させていただいています。これから2時間弱ということになりますが、忌憚のない意見交換ができればと思っていますのでよろしくお願い致します。」と挨拶がありました。

最初のテーマの「優良認定制度の見直しについて」では、最初に愛知県から優良認定の事業の透明性に係る基準について、認証機関による認証制度とすることにより事務負担の軽減を検討してほしいとの意見があり、また、永井会長からは優良認定の申請書類で同じ書類を提出していても自治体により優良認定の判断に差があり、それを無くして欲しいことと優良認定を入札の要件とするなどのメリットの

拡大についての要望がありました。成田課長からは優良認定の判断に差がある事例があれば教えて欲しい、また、優良認定のメリットについては検討会の場で議論されており、環境省としても考えていきたいと思っているが、愛知県で起こった優良認定業者による水質汚濁防止法違反の事例が発覚し、優良認定制度そのものへの逆風が強いので、業界としても襟を正し、自治体も厳しく対応をして優良な業者を育てて欲しいと要望がありました。

二つ目のテーマの「廃プラスチック類に係る処理の状況について」では、三重県協会の井上副会長からは、取扱量が増え、RPFの原料に良質な廃プラスチック類が入るようになり、RPFとして受け入れていた廃プラスチック類を焼却処理しているが、焼却量が増え、受入上限に達しているのが安定型最終処分場に埋め立て処理をせざるを得ない状況との説明がありました。永井会長からは、愛知県では安定型処分場が少なく、管理型でも受け入れられず、また焼却費用が高いため県外に流出している状況の説明がありました。岐阜県協会の粥川理事長からは、岐阜県も同じような状況で、山積み状態で保管基準違反の指摘を受けそうな施設もあると説明がありました。静岡県協会の新井副会長からは、浜松市も同じような状況で、ヤード会社も廃プラスチック類を積み上げている状況で焼却も受入困難となると説明がありました。環境省の服部主査から、廃棄物処理業者から排出事業者に値上げを要請しても理解が得られず、赤字であると聞くが事例はあるかとの質問がありました。岐阜県協会の粥川理事長からは、自社からの搬出先では昨年12月に値上げされ、4月にまた値上げをされると言われていると説明がありました。愛知県協会の小島副会長からは、廃プラスチック類の処理を一般廃棄物処理施設で取り

扱えるかの議論が必要との要望がありました。環境省の成田課長からは、一般廃棄物の処理施設で産業廃棄物である廃プラスチック類を受け入れる話は考え方としてあるが、非常に難しいと説明がありました。岡崎市をはじめ豊田市、静岡市、岐阜市からは、産業廃棄物の受入について処理施設の処理能力だけでなく住民の理解等を考慮する必要がある、産業廃棄物の受け入れは難しいとの説明がありました。愛知県協会の中野常務理事からは、すぐに対応できる措置として、保管基準の緩和があると要望がありました。環境省の成田課長からは、保管期間の延長について検討しているが、期間については慎重に判断する必要がある、緩和の対象業者については優良認定業者が想定されると説明がありました。



産業廃棄物処理に係る意見交換の場

愛知県協会的小島副会長から、愛知県では排出事業者の現地確認は第三者でも良いとされているが問題は無いかと質問に、環境省の服部主査からは、法的には努力義務であるので、全く現場を分からない排出事業者、現場の分かる第三者が同行することについては悪いとは言えないと説明がありました。愛知県からは、条例施行当初から義務化しており、委託前と委託中で確認を行うこととしているが、今回の改正により現地確認をしていない者を公表する規定を新たに設けた。排出事業者の負担軽減等を考慮して代理人（排出事業者の関係会社、同業者団

体等）に現地調査させ、報告を受ける方法も認めていると説明がありました。また、三重県協会の井上副会長からは、施設変更について手続きの簡素化を図ってほしいとの要望がありました。

その他として、愛知県協会の加山安全衛生委員長から、安全衛生の対策、教育を廃棄物処理業における許可要件にして欲しいとの要望がありました。これを受け、環境省の成田課長からは、安全は産業廃棄物処理業振興の第一歩であり、人材確保においても、大切だと考えているので、許可要件に労働安全衛生を入れることについて業界としての総意であれば対応を検討したいと回答がありました。また、成田課長からは廃棄物行政は規制のみではなく人材育成、適正処理の促進は三本の矢と考えているのでよろしく願いますとの言葉がありました。三重県からは、排出事業者が遠方の処理業者に委託していることもあるので、愛知県の条例を参考に、優良認定業者への委託については現地確認を緩和すること等を考えたいと説明がありました。全産連の森谷専務理事からは、環境省による廃プラスチック類処理施設整備の補助金増額はありがたいが、都道府県等とも廃プラスチック類問題を共有した上で、施設設置（変更）に係る廃棄物処理法の手続きの合理化及び建築基準法第51条ただし書きによる都市計画審議会の開催期間の短縮に配慮していただきたいと要望がありました。また、処理の高度化の観点から、低炭素化の取り組みに対して、産廃税収の活用の一つとして目を向けて欲しいと要請がありました。

環境省の成田課長からは、一般廃棄物と産業廃棄物の違いは一般の人にはわからないので、行政も法を犯すような悪質業者への指導を厳しくすることも必要であると結びの言葉を述べられ、意見交換の場は終わりました。

NEWS

<出席者>

環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課

課長 成田 浩司

課長補佐 白鳥 幹久

主査 服部 弘

環境省中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課

課長 水原 健介

廃棄物対策等調査官 板倉 克宏

岐阜県環境生活部廃棄物対策課 課長 篠田 範夫

主任技師 長井 基幸

静岡県くらし・環境部廃棄物リサイクル課

課長 林 聖久

愛知県環境部資源循環推進課 課長 加藤 健治

課長補佐 中根 知康

同 廃棄物監視指導室 室長 吉田 幸男

三重県環境生活部廃棄物対策局廃棄物・リサイクル課

課長補佐兼班長 三浪 純子

主査 荒木田真也

岐阜市環境事業部産業廃棄物指導課 課長 宮居 仁志

主任 辻 誠

静岡市環境局廃棄物対策課 課長 長谷川 誠

許可審査係長 萩原 竜也

浜松市環境部産業廃棄物対策課 課長 今井 重徳

技術職員 長崎 光裕

名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長 浅井 隆行

係長 中村 晃

豊橋市環境部廃棄物対策課 課長 佐藤 実

主査 竹野 宏

岡崎市環境部廃棄物対策課 課長 柴田 清仁

主任主査 船山 哲

豊田市環境部廃棄物対策課 課長 神谷 氏年

担当長 白木 房子

(公社) 全国産業資源循環連合会 専務理事 森谷 賢

総務部担当部長 古川 洋一

主幹 日浦 朋子

参与 土井 洪二

中部地域協議会 会長兼

(一社) 愛知県産業廃棄物協会 会長 永井 良一

副会長 小島 晃

副会長 平沼 辰雄

専務理事 渡邊 修

常務理事 近藤 千雅

常務理事 中野 兼司

安全衛生委員長 加山 昌弘

福利厚生委員長 金田 英和

収集運搬部会長 西山 幸光

事務局長 小坂 元信

中部地域協議会副会長兼

(一社) 岐阜県産業環境保全協会 理事長 粥川 長司

副理事長 澤田 裕二

副理事長 丹羽 武

専務理事 伊藤 誠紀

(公社) 静岡県産業廃棄物協会 会長 鈴木 洋佑

副会長 岩間 雄一

副会長 新井 康久

副会長 渡辺 和良

専務理事兼事務局長 松浦 敏明

(一社) 三重県産業廃棄物協会 会長 木村 亮一

副会長 井上 吉一

副会長 宮崎 正次

理事 光友 裕昭

理事 伊藤 靖則

専務理事 筒井 照雄

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会主催

産業廃棄物処理に係る「第26回 実務者研修会」開催

2月15日（金）名古屋国際会議場 141・142 会議室（名古屋市熱田区）にて、「第26回実務者研修会（実務基礎コース研修会）」を開催しました。

平成28年のダイコー（株）の不適正処理事案を契機に、協会が主催する実務者研修会や協会支部が主催する法令講習会等に、3年に1回は必ず参加することを誓約していただいています。本研修会は排出事業者及び廃棄物処理業者の実務担当者を対象としており97名が受講しました。



講師の渡邊専務理事

開会挨拶の中で事務局専務理事 渡邊 修氏は、「現在当業界は難しい局面に来ており、廃プラが輸出禁止となり、全国的に廃プラの処理に困難をきたして不法投棄がされています。愛知県では最近は無くなりましたが、過去に不法投棄された山はまだ残っており、それが処理されれば解決したということになります。不法投棄を行えば許可の取り消しになりますので、絶対に行わないようお願いいたします。」と不法投棄防止への啓発がありました。

研修会は同氏が講師となり「産業廃棄物処理の基礎知識」について講義がありました。産業廃棄物の不法投棄問題では、平成28年度は2.7万トンの投棄量が、平成29年度は3.6万トンと増加しており、建設系廃棄物が70.6%を占めています。不法投棄実行者では、排出事業者55.2%、許可業者5.5%、無許可業者2.5%、他（不明、複数、その他）という内訳です。また違反行為を行った場合、報告徴収立入検査があり、刑事処分（刑事罰として、罰金刑、禁固刑、懲役刑）、行政処分（改善命令・施設の改善命令、措置命令、許可の取消、他）、民事責任（損害賠償）が問われます。欠格要件については、改正廃棄物処理法平成22年5月19日公布

（平成23年4月1日施行）により、欠格要件規定の合理化が図られ、悪質な違反でないものについては、その会社だけ取り消し、以後連鎖しないとのことです。



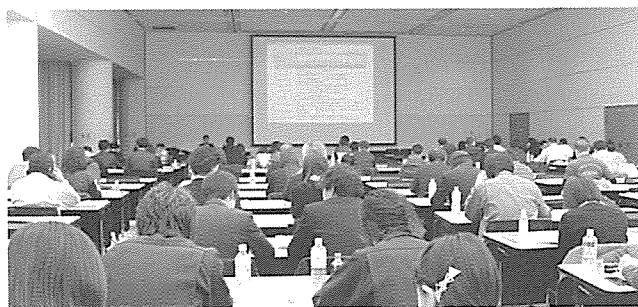
講師の相宮環境アドバイザー

「電子マニフェスト」は、事務局環境アドバイザー 相宮良一氏が講師となり電子マニフェスト制度について、運用の流れ、利用状況について説明がありました。平成30年度の年間登録件数は約2,600万件、電子化率は58%（年間総マニフェスト数を5,000万として電子化率を算出。）ですが、今後2022年度の電子化率70%の目標が立てられたとのことです。



講師の小坂事務局長

「産業廃棄物の委託処理と委託契約」、「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」、「帳簿」は、事務局長小坂元信氏が講師となり委託契約書の目的、委託基準、委託契約書の記載事項について解説しました。再委託は法第14条第16項において原則禁止と定められており、再委託の決定権は排出事業者にあります。再委託ができる場合の手順、手続きについて説明がありました。マニフェストでは、廃棄物管理票制度、交付等状況、紙マニフェスト記入要領について、帳簿では、廃棄物処理業者が備え付けるべき帳簿、電子マニフェストを活用した帳簿作成方法について述べ、研修会を終えました。



豊田市主催 産業廃棄物処理業者のための 廃棄物適正処理講習会

2月21日（木）午後2時からスカイホール豊田大会議室（豊田市八幡町）において、豊田市環境部廃棄物対策課主催、（一社）愛知県産業廃棄物協会後援の「産業廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理講習会」が114名参加のもと開催されました。

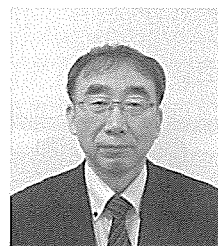
同講習会は産業廃棄物適正処理の促進を目的に、平成26年度から開催し今年で5回目を迎え、本年度は全国各地で産業廃棄物に関する講演を行っているBUNさんこと長岡文明氏（BUN環境課題研修事務所主宰）を講師にお招きしました。

はじめに豊田市環境部廃棄物対策課 神谷氏年氏が開会の挨拶を述べ、第1部は豊田市からのお知らせとして「産業廃棄物処理業者のみなさまへ ～その家電の取扱い大丈夫ですか～」について説明がありました。事業場内に排出事業者から引き取ったテレビ、冷蔵庫、電子レンジ、ノートパソコンなどの家電（以下「対象機器」という。）の保管について、他人への売却のための買い取り、無料での引き取りは注意が必要とのことです。また取扱いに注意が必要な対象機器が家電リサイクル法4品目、小型家電リサイクル法28品目、計32品目あります。有価物の適正な取り扱いとして、リユース（再使用）品の場合（参考：使用済家電製品の廃棄物該当性の判断について 通知 平成24年3月19日）と有害使用済機器の場合（産業廃棄物処理業の許可を受けた者が、当該許可等に係る事業場以外で保管等を行う場合は、届出が必要）があります。他に電子manifestの報告期限（電子manifestの登録期限）の変更、平成31年3月3日から施行される水銀使用製品産業廃棄物の追加（放電管、容積形力系、滴水銀電極、水銀圧入測定装置、ガス分析計、水銀等ガス発生器）についてお知らせがありました。

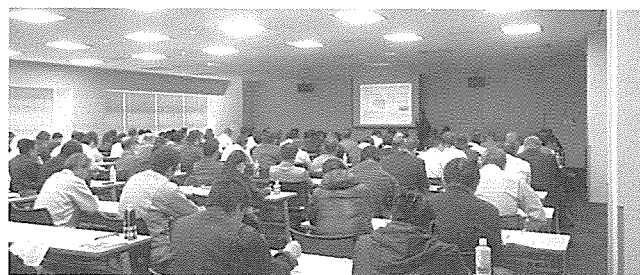
第2部は「違反事例に見る廃棄物処理業のポイント」と題して、講師の長岡文明氏が登壇されました。

第1講は「廃棄物処理法の改正について ～新措置命令等、雑品、親子会社 の新规定について～」では、改正案の概要として（1）廃棄物不適正処理への対応の強化①許可を取り消された者等に対する措置の強化②manifest制度の強化、（2）有害使用済機器の適正な保管等の義務付け、（3）その他、について講義がありました。中でも平成29年改正新「ギブアップ通知」は対象が2項（行政処分による取消または自主廃業、処理を終了していない産業廃棄物が残置）追加されました。改正理由は取消にしろ自主廃業にしろ「業許可」が喪失すると、処理基準が適用されずギブアップ通知の対象者とならなかったためです。これにより通知を行わなければならない規定を「元業者」までに拡大、通知を受け取った排出事業者は処理状況の確認と適切な措置を追加、適切な措置を行わなかった時の措置命令の対象者の拡大となりました。他にも違法な廃棄物回収業者の背景と取締りの必要性について、企業グループ内における産業廃棄物の自ら処理の容認について解説がありました。

第2講は「最近の違反事例に学ぶ廃棄物処理法 ～誰が、どんな違反をしているのか、考えてください～」では、“名義貸し”、“再委託”、“ブローカー行為”について説明があり、事業者（排出者）の責任についても裁判事例を挙げ解説があり、講習会を終えました。



講演するBUN 環境課題
研修事務所 長岡主宰



NEWS

同じ轍は踏ませない！！

岡崎市主催 廃棄物処理業者のための 廃棄物適正処理セミナー2019

2月22日（金）午後1時30分から岡崎市福祉会館6階大ホール（岡崎市朝日町）において、岡崎市環境部廃棄物対策課主催の「廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理セミナー2019」が参加者110名のもと開催されました。

セミナーは、岡崎市環境部長 小早川稔氏の「平成29年3月の産業廃棄物処理業の振興方策に関する検討会において産業廃棄物処理業の振興方策の提言がまとめられ、産業廃棄物処理業が我が国の社会経済システムに不可欠なインフラであり、地域と共生しながら持続的な発展を図ることが循環型社会の構築を進める上で重要であることが示されました。しかしながら市民からは依然として廃棄物処理施設等が迷惑施設として認識され、その立地等に当たって周辺住民から反対を受けがちであるという現実もあります。また、食品廃棄物の不適正な処理に関する話題が世間を騒がせております。一部の業者の不法行為等によって、廃棄物の処理に携わる皆様、業界全体のイメージ悪化を招くことは本意ではありません。本日のセミナーにて法制度、企業倫理等について再確認をしていただき、引き続き適正処理に努めていただきますようお願いいたします。」という冒頭挨拶により開会されました。



挨拶する小早川環境部長

講演は「廃棄物処理法違反に学ぶリスクマネジメント」と題して、佐藤泉法律事務所 佐藤泉弁護士により行われました。まず、廃棄物処理法違反の典型例として、不法投棄、違法焼却、無許可営業、マニフェストの虚偽記載、マニフェストの交付を受けずしての廃棄物の引受け、保管場所での過剰保管、駐車場での廃棄物保管等の解説があり、不法投棄の中には会社の代表者が知らないところで従業員により行われ、それ



講演する佐藤弁護士

が住民からの通報で発覚することもあるため、社内の管理体制の強化が求められると助言がありました。具体的な違反事例として、過去に実際に起こった豊島事件、廃棄カッ横流し事件等が取り上げられましたが、異物の除去が不完全な建設廃棄物のリサイクル品が廃棄物と判断されることがあるなど廃棄物のリサイクルの難しさが事件につながる例もあるとのことでした。

「優良な廃棄物処理業者」をテーマとした話では、収集運搬業者は、排出事業者と処分業者をつなぐ重要な役割を果たしており、廃棄物処理に係る窓口となることが多いので、処分業者の状況をしっかり把握している、分別方法のアドバイスができる、疑問のある廃棄物は持って行かない、処分業者の過剰保管を知らせてくれるなどのことが排出事業者から期待されており、特に誠実な処分業者と関係を持つようにすべきであるとのアドバイスがありました。一方で処分業者に期待されることとしては、契約締結前に受け入れ可能なものを十分に説明する、異常があった場合は排出事業者と連絡をする、異物が多い場合は受け取らない姿勢を明確にする、優良な運搬業者、最終処分業者としか付き合わないこととの見解が示されました。

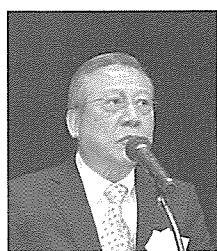
最後にまとめとして、コンプライアンスの在り方に関し、廃棄物処理法は内容が深いだけでなく、違反することで刑事罰が科せられることもあるので、社内ルールの徹底とともに、従業員一人だけで判断させないこと、連絡・相談・連携・確認の徹底を図ること、従業員教育の徹底を図り、何でも相談ができる風通しの良い社内環境を作ることが大切であると締められ、セミナーは終了しました。



NEWS

平成30年度暴力追放セミナー報告

平成23年4月に愛知県暴力団排除条例が施行され、7年が過ぎました。この間、地域、職域における暴排意識も一段と高まり、暴力団も相当追い詰められてきています。しかし、暴力団も生き残りをかけ組織実態、活動実態を巧妙に隠ぺいしながら資金獲得活動を展開しています。そこで、暴力団の排除や不当な要求に適切に対処するため、3月7日（木）午後1時30分から名古屋国際会議場センチュリーホール（名古屋市熱田区）において、主催（公財）暴力追放愛知県民会議、後援 愛知県警察本部・愛知県弁護士会による「平成30年度暴力追放セミナー」が開催されました。



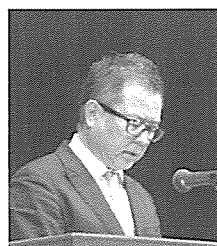
開会のことばを述べる
（公財）暴力追放愛知県民会議 梶浦専務理事

セミナーは（公財）暴力追放愛知県民会議専務理事 梶浦正俊氏の開会のことばがあり、同会議の沿革、及び活動内容について紹介がありました。



講演する愛知県警察
浮海組織犯罪対策局長

第一部の基調講演は、「暴力団情勢と暴力団排除対策について」と題し、講師として愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局長 浮海浩明氏が登壇されました。平成30年度の警察運営の基本目標「安心して暮らせる安全な愛知の確立」について、「暴力団の壊滅」、「交通死亡事故の抑止〜減少傾向の定着〜」、「犯罪の抑止」、「大規模警備の完遂」について解説がありました。



講演するプロ野球暴力団等排除対策協議会
田中委員

「暴排好事例発表」では、中日ドラゴンズ・ナゴヤドームプロ野球暴力団等排除対策協議会委員 田中浩之氏から発表がありました。

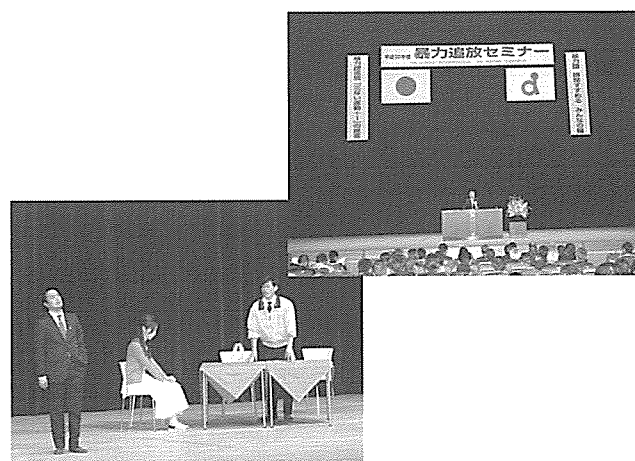
同協議会は暴力団排除宣言の『だれもが安心

して観戦でき、選手がフェアプレーに専念できる球場を守るために、私たちは力を合わせて暴力団および悪質な応援団の排除に取り組むことを宣言します。①暴力団および悪質な応援団を球場に入れません。②暴力団および悪質な応援団を、選手・監督・コーチらに接触させません。③暴力団および悪質な応援団の不当な要求に屈しません。④暴力、威迫など粗暴行為、ダフ屋行為、物品の無許可販売など、不正行為に対しては厳正に対処し、断固たる措置をとります。』について解説がありました。

第二部では「〜寸劇を通して学ぶ悪質クレーマー対策〜」の寸劇（出演 創工房MAKO企画、監修 愛知県弁護士会民事介入暴力対策委員会）が行われました。

「パネルディスカッション」は、コーディネーターは、愛知県弁護士会民事介入暴力対策委員会副委員長 名越陽子氏、パネラーは、愛知県警察本部組織犯罪対策課暴力団対策室長 小林英資氏、愛知県弁護士会民事介入暴力対策委員長 青葉憲一氏、愛知県外食産業暴力対策協議会（株）壱番屋）神 博氏らをお迎えして行われました。

「アトラクション」は、南山大学応援団 リーダー部・チアリーダー部 KOALAS による暴排活動エールが行われセミナーは終了しました。



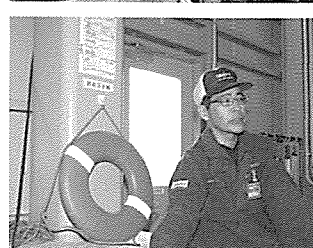
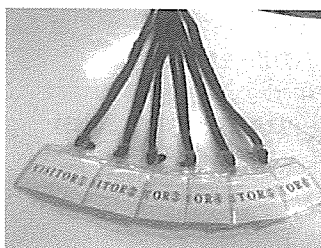
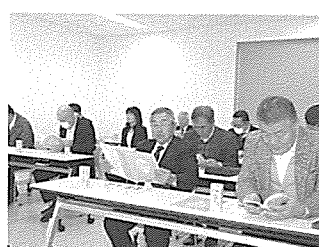
第3回安全衛生委員会

「安全衛生活動の取組 視察・研修」開催

安全衛生委員会（加山昌弘委員長）は、2月28日（木）第3回安全衛生委員会「安全衛生活動の取組 視察・研修」を17名参加のもと開催しました。

午前は「サンコーリサイクル（株）」（東海市浅山三丁目190）にて代表取締役 金田英和氏の挨拶、常務取締役 金田 琳氏より「安全への取り組み」の発表がありました。朝礼では当日の作業内容の確認、KYの実施、IoT技術の活用でデータ管理のもとプラントのリスクをコントロール、プラント内の設備は色分けによる誤視の防止がなされています。セキュリティ強化は、場内カメラの設置、セキュリティ会社との連携、ビジーカードの使用、収集運搬においては最新車両（追突防止センサー）の導入、GPSにて車両の運行状況を把握、運転手による自主的なミーティング、現場での情報共有と確認を行っています。これらの安全衛生の取り組みは、コンサルティングを導入した成果といえ、安全に対する意識の向上、万が一を意識した行動、リスクを未然に排除する姿勢、日常的に問題点を洗い出す習慣が身についたとのこと。CSRについては、壁面の緑化、ラジオ放送での発信、東山動物園のスポンサーとして業界のイメージアップに貢献しています。その後保管庫屋上からプラントを見学しました。

午後は「オオブユニティ（株）リサイクルプラント横根工場」（大府市横根町惣作236-1）にて代表取締役 相木 徹氏の挨拶後、環境ソリューション事業部長 浜辺 久氏より「安全衛生研修会」の発表がありました。はじめに従業員200名を抱える安全衛生管理体制の各部署の役割について説明がありました。また、日頃の安全衛生の取り組みでは、火災発生対応手順書、薬品漏洩手順書、ヒヤリハット事例、避難経路他が作業現場に掲示されていました。年間行事としては、救命救急講習会、交通安全講習会、車両講習会、ユニック講習会（新人教育）等の説明がありました。工場内の視察では、場内の清掃が行き届き清潔な環境が保たれ各通路の周辺は整理整頓されており、けがにつながるような物はありませんでした。目を引いたものが工場内の救命浮輪でしたが、階下が水槽になっており蓋の開閉に際し、もしもの時の浮輪が設置してありました。壁面には各機器のコントロールパネルが設置され、遠隔操作にて廃棄物の処理の管理を行うことができます。社内の過去事例では、車のバック時が事故につながりやすいとのヒヤリハットがあり、事故防止の強化を図っています。2社の視察研修を終え委員会は閉会となりました。



NEWS

モリコロパーク「もりの学舎」 春休み特別企画を実施

愛・地球博記念公園内の環境学習施設「もりの学舎」では、3月23日（土）から4月7日（日）まで、主催：愛知県、特定非営利活動法人もりの学舎自然学校、協力：（一社）愛知県産業廃棄物協会により、春休み特別企画を開催しました。

期間中は特別プログラムとして、紙トンボ、光の小箱、きのみのフォトフレームなどのエコ工作が体験できる「あそび工房」、エコや自然をテーマにした「紙芝居・絵本読み聞かせ」、「さわってさがそう」が開催されました。通常プログラムの季節の自然にふれながら、ゆっくり森を楽しむ「インタープリターと歩くもりのツアー 森コース・かめの池コース」、「インタープリターと森あそびしよう！」

も同時開催されました。

開催初日の23日（土）は、寒の戻りからか午前中は肌寒く感じましたが、午後からは気温も上がり多数の来館者がありました。各プログラムの参加者はほとんどが家族連れでしたが、中には若い方の参加もあり、展示されたパネルを見て、ごみ問題、リサイクル、地球環境へ関心

を示され、廃プラスチック類の処理、業界の人材雇用等について質問がありました。館内の遊具や視聴覚施設を利用し、屋外でインタープリターとのあそびを通じ自然に触れることは、環境に関心を持つ良い機会といえ、広く一般の方へ愛産協の取り組みがアピールできた春休み特別企画でした。



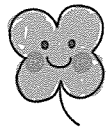
来館者の方の楽しい4日のパフォーマンス

館内 Photo



かめの池コース





インタープリターって？



かっぱーさんに 突撃インタビュー！

◆インタープリターになられたきっかけは？

2005年に開催された愛・地球博のテーマである森や環境への取り組みに共感しました。その時、愛・地球博に何らかの形で関わりたいと思いました。万博終了後、インタープリターの募集を知り、応募してインタープリターになりました。

◆インタープリターとは何をするのですか？

森のツアーでは、参加者に森の話をして、山中の木、枝を見て本来の自然の姿に気づいてもらえるようにガイドしています。最後に、「森っていいね」、「また来たいな」って言われると、とてもうれしいです。

もう一つ、家族連れの参加者の時、お子さんの小さな気づきを、ご両親がとてもうれしそうな顔をして見ています。その微笑ましい様子を拝見して私もうれしくなります。森を縁として、子どもの良いところ、両親の良いところを見つけられる、インタープリターは自然と人の橋渡しのような役割を担えることが、とても素晴らしいと感じています。

◆インタープリターは資格が必要ですか。

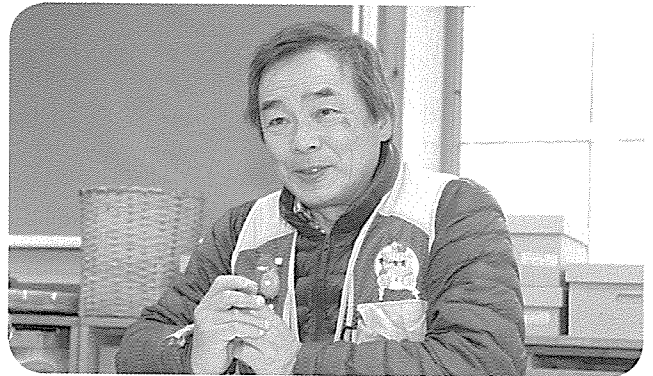
各組織により異なるようですが、ここ（もりの学舎）では、インタープリターの概要やツアーの方法、他にも研修を受けインタープリターになります。私は愛・地球博から数えると3期生になります。

◆他にも何か活動をされていますか。

年数回小学校へ環境学習の出前授業へ行きます。他には環境カウンセラーをしています。

◆かっぱーさんのニックネームの由来を聞かせてください。

私は泳ぐことが好きで、かっぱのようにスイスイ泳げるようにと、このニックネームにしました。覚えてもらいやすいでしょ！



◆最後にメッセージをお願いします。

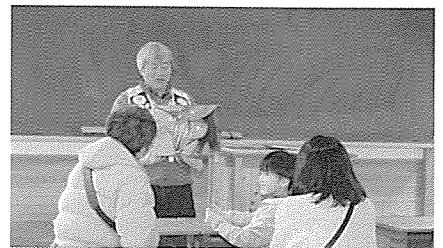
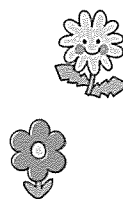
環境については、ひと手間かけていかなくは、どんどん悪くなっていくと思います。例えばごみでもきちんと分別する、ひと手間かける、それによりリサイクルができ、ごみが少なくなると思います。

かっぱーさん、いろいろと教えていただきありがとうございました。

インタープリターさんと行くもりのツアーは、誰もが森の中で大発見をして、大きな木、葉っぱや木の実、花の芽、虫に関心を持つようになります。

ぜひ「もりの学舎」へお越しください！

モリゾー&キッコロに会えるかもしれません！？



ピンブーさん



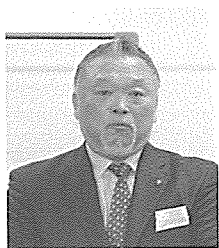
しばさん、かっぱーさん、ぼぼりんさん、かっちゃんさん、こいさん



名古屋支部

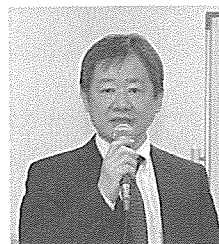
委託契約書説明会

名古屋支部（新美三良支部長）は、3月1日（金）午後2時30分からウインクあいち（愛知県産業労働センター）12階1203号室（名古屋市中村区）にて、会員76名の参加のもと「産業廃棄物埋立処分委託契約書説明会」と題し、研修会が開催されました。



挨拶をする新美支部長

研修会の司会進行は副支部長の永井弘児氏が担当し、開会の挨拶で新美支部長は、「今回は（公社）全国産業資源循環連合会から講師の方をお招きして、委託契約書の変更された点について解説をしていただきます。自社に関わりのある内容について、正確に習得していただきますようお願いいたします。」と述べました。



講師の（公社）全産連 香川氏

研修会は「埋立処分委託契約書（様式）の作成と全産連の動向について」と題し、（公社）全国産業資源循環連合会 香川智紀氏を講師としてお招きしました。講演では、全産連における取り組みのうち、埋立処分委託契約書様式の作成、リサイクル促進、感染性廃棄物処理マニュアルに対する意見、収集運搬、安全衛生について説明がありました。

講演の要点は次の通りです。

（1）埋立処分委託契約書様式の作成

最終処分場を健全に経営するためには、①処分場の閉鎖から廃止までの期間を可能な限り短縮する必要があること、②そのためには埋め立てる廃棄物を厳選する必要があること、③搬入検査を徹底し埋立不適物を搬入しないこと、などが重要です。

これらを徹底していくためには、委託者と受託者双方の役割分担や責任の所在について予

め契約書の中で明確化しておくことが有効です。

埋立処分委託契約書様式では、産業廃棄物の種類だけではなく、委託する産業廃棄物の範囲を明確化するための項目や、最終処分場に契約外の廃棄物が持ち込まれた場合の対応や責任の所在を明らかにした項目を追加しました。

契約書様式の利用にあたっては、様式を参考として契約当事者間で協議し、追加、修正、削除などにより利用してください。

以上の説明の後、各条項の概要について詳細な説明がありました。

（2）契約書様式の普及に伴う収集運搬業者・中間処理業者への影響

契約書様式を普及させるためには、排出事業者と最終処分業者間で、適正な埋立処分に関する意識が共有され、協力関係や信頼関係を築いていくことが重要です。この契約書様式が普及した場合に、収集運搬業者や中間処理業者にも影響が及ぶ可能性があります。例えば、収集運搬業者の場合には、最終処分場に搬入できなかった廃棄物の返却に要する費用負担、中間処理業者の場合には、適正処理やリサイクル原料として利用できない廃棄物が搬入された場合の取り扱いなどについて、現在の処理委託契約書ではどのように定めているか、などです。

産業廃棄物の適正な処理とは、量を減らすこと（減量化）、利用すること（リサイクル）、埋め立てることのいずれかしかありません。埋立が厳しくなることに伴い、中間処理の役割の重要性が増すとともに、排出事業者と処分業者（中間処理業者・最終処分業者）の接点として収集運搬業者への期待も強くなることが予想されます。

（3）リサイクル促進

リサイクルを促進するためには利用拡大が不可欠です。そこで建設汚泥再生品の利用拡大

に向けた取り組みを例として全産連の建設廃棄物部会における検討状況について説明がありました。

全産連では、平成29年11月に「建設汚泥再生品の利用促進のための提案」をとりまとめ、平成30年12月には「建設汚泥リサイクル製品評価のための自主基準」及び「建設汚泥リサイクル製品事例集」を改訂しました。これらの概要や目的について説明がありました。また再生砕石の利用拡大に向けた取り組みとして東京都における取り組み事例として、東京ブランド“粋な”エコ石」について紹介されました。

(4) 感染性廃棄物処理マニュアルに対する意見

医療廃棄物部会では、各都道府県協会を通じて収集した「感染性廃棄物処理マニュアル」に対する意見を取りまとめ、平成27年9月に環境省に意見書を提出しています。その内容と環境省の対応状況及び今後の見通しについて説明がありました。

(5) 収集運搬部会での取り組み

収集運搬部会では、業許可の合理化について各協会を通じて意見を取りまとめました。その意見を全産連から環境省に要望した結果、平成22年廃棄物処理法改正により収集運搬業許可が都道府県知事に一本化されました。

その他の要望内容や積替保管の位置付けの明確化など現在の検討状況について説明がありました。

(6) 安全衛生体制の構築

最後に、安全対策の重要性が説明され、安全衛生委員会の活動成果として全産連ホームページにおいて公開されている各種資料とそれらの利用方法が紹介され、研修会は終了しました。

閉会挨拶では、小坂事務局長から、本日の研修会で紹介された検討の過程や成果は、愛知県協会の会員専用ホームページで閲覧することが可能であることが紹介されました。

※研修会は配布資料「産業廃棄物埋立処分委託契約書 説明会資料－委託契約書（様式）とその解説－」
発行：（公社）全国産業資源循環連合会を元に解説



持続可能な社会づくりの人材養成塾



－講座のご案内－

- 開催日 2019年6月15日(土)～11月16日(土)
- 募集期間 2019年3月8日(金)～5月9日(木)
- お問合せ先
愛知県環境局資源循環推進課（循環グループ）
TEL：(052) 954-6233（ダイヤルイン）
- お問合せ、お申込み
（公財）名古屋産業科学研究所
中部ハイテクセンター（CHC）
TEL：(052) 223-6639 FAX：(052) 211-6224

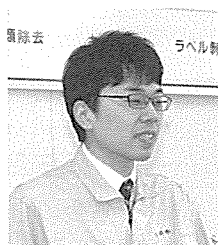


尾張西支部

施設見学会・新春初詣

尾張西支部（富田昭夫支部長）は、1月24日（木）「施設見学会・新春初詣」を開催し、支部会員27名が参加しました。

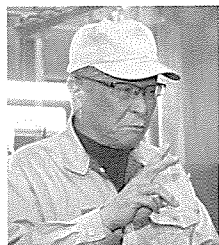
午前は日本耐酸塩工業グループ 丸硝（株）（大垣市荒尾町674）にて、総務部 加納竜一氏より会社概要について説明を受けました。



説明をする
丸硝（株）加納氏

同社は昭和34年創業、主な業務内容はガラスびんを回収しカレットを製造、そのカレットはガラスびんメーカーに提供。ガラスびんは珪砂、石灰石、ソーダ灰とカレットを混合して、高温で溶かして製造されている。

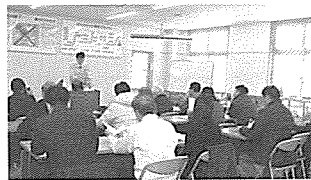
カレットはガラスびんのかげらであり、そのままガラスびん原料として使用できる。またガラスリサイクリング活動として、岐阜県を中心に全国へ展開、現在は200の市町村からガラスびんを回収し、再資源としてのカレットを生産。平成21年循環型社会形成推進功労により環境大臣表彰を受賞。



工場案内をする
丸硝（株）馬淵工場長

工場見学は回収されたガラスが高品質のカレットになるまでの工程を、同社取締役本社工場 工場長 馬淵邦彦氏に案内をしていただきました。回収したガラスびん他はホッパーから投入、

工程内に搬入され、ペットボトル・空き缶やビニール袋など大きな異物を手選別にて取り除き、粉碎機・除鉄機・振動ふるいで異物を



取り除いた後、キャップキャッチャーによってキャップを取り除きます。次にマイクロソートにて軽い紙やラベルなどの異物を風圧により繰り返し除去し、異物検査ラインで目視にて品質を確認し、自動検査（モゲンセン）を経てカレット（白色、茶色、その他の色）になり、日本耐酸塩工業へ搬入され製塩におけるカレットの使用率は80%以上です。丈夫で美しいガラスびんを作るには、色分けされて異物のないカレットが良いとのこと。理由としては、ガラスは約1,500℃の高温で溶解して作りますが、金属類、石、陶磁器類は溶解されずガラス中に残り、びんの強度に影響します。鉄やアルミニウムは、ガラスの色調を汚したり、溶解炉のレンガを損傷させることがあるそうです。他にも理由はありますが、異物除去を徹底して作られる同社のカレットは、高い品質を誇る貴重な資源（ガラスの原料）となり、鉱物資源の節約にもなる省エネルギーと言えます。参加者からは先進技術を駆使した工場を見学して、徹底したガラスびんの再生技術と工場の設備について、更なる発展と活躍に期待しています、との感想がありました。

午後は千代保稲荷神社（海津市平田町三郷1980）で初詣を行いました。同神社は「おちょぼさん」と地元では親しみを込めて呼ばれており、商売繁盛を願って多くの参拝客が訪れています。参加者も産廃業界の繁栄を願い、油揚げを奉納し参拝しました。支部事業での初詣は初めてでしたが、会員相互の懇親を深める良い機会となりました。



丸硝（株）社屋前にて

尾張西支部

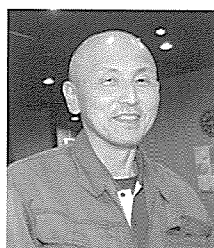
ボウリング大会

尾張西支部（富田昭夫支部長）のボウリング大会が3月8日（金）午後6時30分より稲沢グランドボウル（稲沢市井之口大坪町）で支部会員53名が参加して女性及び小学生以下の方には1ゲーム＋10点のハンデがあり3ゲームトータルで行われました。

富田支部長より「点数を競い合うだけでなく、隣のレーンの方々とも親睦を深め、人脈ネットワークを築くことがお仕事にも役立つと思います。また、賞品は多数用意しており、会員企業様よりご協力頂きましたのでぜひ頑張ってください。」との挨拶がありました。練習ボールの後、副支部長 佐藤智和氏による始球式が行われ大会はスタートしました。

会社仲間3人で参加したチームがほとんどで女性や小学生以下の方も9名参加され、各レーンでは歓声や笑い声にあふれ、ストライクの歓声やハイタッチが両隣でも行われるなど、和気あいあいとした雰囲気の中でボウリングを楽しみました。

大会終了後近隣の「めん家寿」にて食事を兼ねての表彰式が行われました。富田支部長の司会で成績発表が行われ、また、飛び賞、当日賞、ブービー賞などの方にも賞品が贈られました。優勝は



優勝の大山さん

トータル681点で大山博司さん／（有）ケーアイ、準優勝は本田寿々子さん／（有）大口建材コンクリート、3位は平林由美さん／（有）大口建材コンクリートで、協会の親睦ボウリング大会で上位の成績を収めている方々が、今回も上位を占めました。参加者は尾張西支部で普段顔なじみの方々が集い、仕事を終えてのゲームでしたが、充実した時間を過ごせた大会でした。

■上位成績表

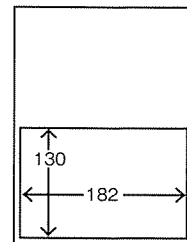
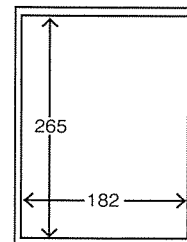
順位	氏 名／会社名	HC	トータル
優勝	大山博司／（有）ケーアイ	0	681
準優勝	本田寿々子／（有）大口建材コンクリート	30	569
3位	平林由美／（有）大口建材コンクリート	30	529

★「循環あいち」では広告掲載企業を募集しております。★

■広告掲載価格表（A4）

掲載面	スペース	彩色	サイズ 天地×左右 (mm)	料 金 (税込)
表 ② 表紙の裏面です。	1 P	4 C カラー	265×182	50,000円
	1 / 2 P	4 C カラー	130×182	30,000円
表 ③ 裏表紙の裏面です。	1 P	4 C カラー	265×182	50,000円
	1 / 2 P	4 C カラー	130×182	30,000円
表 ④ 裏表紙です。	1 P	4 C カラー	265×182	50,000円
	1 / 2 P	4 C カラー	130×182	30,000円
本 文	1 P	4 C カラー	265×182	40,000円
	1 / 2 P	4 C カラー	130×182	25,000円
	1 P	1 C 白黒	265×182	35,000円
	1 / 2 P	1 C 白黒	130×182	20,000円

■サイズ (mm)



●広告原稿は完成データをお願いいたします。

●広告原稿の制作依頼及び、持込みデータの縮小、拡大などを必要とする場合は、別途料金（レイアウト及びデータ入力：約2万円）がかかります。

●年間連続掲載の場合は10%割引となります。

尾張北支部

法令講習会

尾張北支部（金田英治支部長）は2月13日（水）午後2時からナディアパーク国際デザインセンターセミナールーム2（名古屋市中区）で会員23名が参加のもと「法令講習会」を開催しました。

講習会は「働き方改革 一億総活躍社会の実現へ向けて わたしたちが心得ておくべきポイント」と題して、社会保険労務士・特定行政書士・厚生労働大臣認可・労働保険事務組合 どりかむ21運営 牟田美智代事務所 牟田美智代氏を講師としてお招きしました。



講演をする
牟田氏

講義に入る前に「わたしたちが心得ておくべきポイント」として、時代と法律を理解しやるべきことをやり抜き前進する、働き方改革を情熱を持って取り組むチャンスとしましょう!との意識付けからスタートしました。

働き方改革の原則として“働く人々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で選択できるようにするための改革”であり、企業側は就業拡大、意欲・能力を発揮できる場の提供が望ましいとのことでした。

1部では「労働時間法制の見直し」として、残業時間の上限規制では、1日8時間、週40時間に対して残業の上限は、月45時間、年間360時間を就業規約に定める。例外では臨時的な特別な事情があり労使が合意する場合でも、年間720時間以内、複数月平均80時間以内、月100時間未満です。

また、本年4月から、年間5日間の年次有給休暇の取得は、本人からの申し出がなくとも年間5日間を取得する義務付け（管理職も）があり、守らない場合は罰則が科せられることもあります。

2023年からは、月60時間超残業の割増賃金率は50%になるため今から対応について準備し、ターゲットとなる業務、ターゲットとなる人を確認する。

他にも、勤務間インターバル制度の導入促進、労働時間の客観的な把握（企業に義務付け）、フレックスタ

イム制の拡充、高度プロフェッショナル制度の創設、産業医・産業保険機能の強化、について説明がありました。

2部では「雇用形態に関わらない公正な待遇の確保」として、2020年4月から施行される①不合理な待遇差の禁止では、パートさん・有期雇用労働者へはガイドラインとして、基本給、賞与、各種手当、福利厚生、教育訓練等について挙げ、パートさんの交通費や皆勤手当についても大丈夫ですか?との確認がありました。派遣労働者へは派遣労働者と派遣先労働者の待遇差について具体例を挙げました。②労働者に対する、待遇に関する説明義務の強化 ③行政による事業主への助言・指導や裁判外紛争解決手続（行政ADR）の規定や整備について解説がありました。

講義中に質問があり、パートさんの社会保険について対象となる勤務時間数は？

〔1週間 3/4 時間以上〕 & 〔1か月 3/4 日以上〕

例：社会保険適用

1 週 40 時間、月の所定労働日数 21 日の事業所であれば
週 30 時間 & 月 16 日以上勤務であれば



本人の意思に関係なく社会保険適用です。

言い換えれば、週が 29 時間、月 15 日勤務であれば、社会保険加入はしません。65 歳以上で年金受給者の方には都合のよい働き方になると言えます。

他にも講義中に多くの質問があり、働き方改革に向けた事業主側の対応について疑問を感じられる方は、ぜひ社労士に相談をしてくださいとのアドバイスがありました。

3部では、安全衛生、事業主責任について話があり講習会は終了しました。



尾張南支部

安全衛生講習会

尾張南支部（金田英和支部長）の安全衛生講習会が2月20日（水）に行われました。午前9時30分にアイプラザ半田駐車場に会員17名が集合して豊田ケミカルエンジニアリング（株）半田工場に向かいました。同社到着後、研修室にて金田支部長より挨拶があり、続いて代表取締役 林 由浩氏より「これまで労働災害を無くし安全衛生に努めてきましたが、過去2回労働災害事故が発生しました。それを受けて『豊ケミセイフティーP J』（プロジェクト）を発足し、本日まで労働災害ゼロを2,493日間を継続しております。これは全社一丸となり地道に安全衛生に取り組んだ成果と考えますので、本日ご紹介させていただき皆様方の一助となることを願っております。」と挨拶がありました。



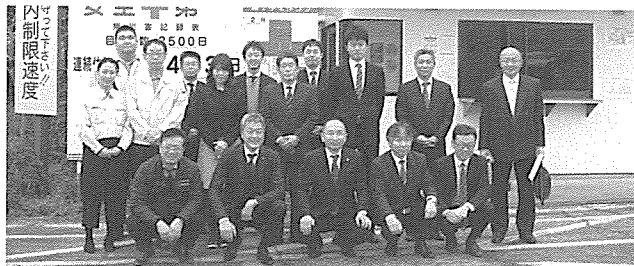
挨拶をされる
林代表取締役

講習会は会社紹介のビデオ映像を見た後、コーポレート部安全推進グループ係長 豊田誓司氏より、これまでの安全衛生活動の取り組み事例の紹介がありました。



講話をされる豊田安全
推進グループ係長格

社内に安全衛生委員会を設置し、2004年に労働安全衛生マネジメント（OSHMS）を認証取得して労働災害の防止に取り組み、事故の発生数は減少傾向となりました。しかし2008年頃から小さな事故が起り始め、2014年に協力会社による準重大災害が発生しました。同年この災害を教訓として「豊ケミセイフティーP J」が発足。同社における三つの作業は、①構内作業（通常操業における作業）②外注作業（設備工事作業）③請負作業（トヨタG等における請負作業）、の三つの観点から安全活動を開始し、6か月を1クールとして現在も継続中。豊環倶楽部安全活動では、上記①②は弊社設備に固有の課題、OSHMS活動の



改善等の内容。③請負作業として“業務請負会社＝豊環倶楽部”と共に安全活動を実施し、主要協力会社8社で構成されています。第1次活動の中では、同倶楽部のあるべき姿として、「各社が個社で、安全活動等を進めていくだけの力量を持つこと」、「会員各社間および弊社と忌憚のない話し合いができる関係が築けていること」を目指し能力の向上を図っていました。また安全意識調査では、質問：安全ルールを守らなかった理由、では、“ルールを守ろうとすると業務や作業がやり難くなる、できなくなるから”、“急いでいるから、忙しいから”という回答が多数ありました。質問：安全活動で災害防止効果が高い取り組みは？では、“手順書・要領書の安全急所や職場の安全ルールの徹底”、“コミュニケーション”他が挙がっていました。まず、安全意識の向上には対話が重要であり、他社の好事例・失敗事例を共有する双方向コミュニケーションが大切であるとのことでした。第2次活動では、「各社リーダー・キーマンの養成」として、危険のポイントを見つけることができ、他者に指示・指導・教育できるキーマンの育成＝「△KYトレーナー」を養成する。第3次、4次、5次活動では△KYトレーナーを中心に各社の作業員・ドライバーに対して意識の向上。第6次活動では豊環倶楽部における作業の標準化について、第7次活動では作業要領書に準じた作業が行われているか確認し、第8次活動では協力会社のルールの充実化。最後に自身のことである意識づけとして“作業者のレベル感で取り組む”、マンネリ化しがちな安全活動に“新しい視点をつくる”とまとめを述べ、講習会を終えました。

東三河支部

新年交礼会



東三河支部（松井忠博支部長）は1月17日（木）午後6時から、「らく楽」（豊橋市花園町）で35名が出席して新年交礼会が行われ、協会からは事務局長 小坂元信氏が出席しました。

開会の挨拶で松井支部長は「平成最後のお正月は地元の神社を三か所初詣をして、初日の出を拝み今年一年の無事を願いました。時代が昭和、平成、新元号と変わっていくように、産廃業界を取り巻く環境も刻々と変化しております。当業界も産業廃棄物処理業として業法の取得を目指し、活性化しております。東三河支部は本年も支部会員皆様のご協力のもと、さらなる支部事業を推進してまいりますので宜しくお願いいたします。」と述べました。

小坂事務局長からは「協会の活性化は支部の運営にかかっています。東三河支部は例会も多く皆様の活力を感じています。ありがとうございます。また、1月29日に東三河総合庁舎で行われる、『愛知県災害廃棄物処理図上演習』では、松井支部長、長崎正敏前支部長、伊藤良文会計が参加し、市町からの質問に回答していただきます。いざ災害が起こった際に備え、市町と顔の見える関係を築く非常に大事な会議であるため、宜しくお願いいたします。」と述べました。

乾杯の発声は鬼頭秀幸副支部長が行い、新年を祝う賑やかな会食となりました。

青年部

新年会

青年部（近藤大樹会長）新年会が1月23日（水）午後6時から、「まりも亭三宮店」（神戸市中央区）にて、会員22名参加のもと開催されました。

交流委員会の開催趣旨として、平成最後の新年会を会員の皆様と神戸に趣き、夜景と会食を満喫し青年部としての新しい一年をスタートしたいという思いから企画されたとのこと。

開会の挨拶で近藤会長は「本日はお忙しい中、神戸での新年会にお集まりいただきありがとうございます。平成最後の新年会ですが、新しい時代に向けて益々青年部が活躍できますよう、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。」と述べました。



挨拶をする近藤会長

乾杯の発声は永井弘児副会長が行い、会食が始まりました。同店は地域産直の食材が豊富に揃い、神戸ならではの美味しい料理に、参加者は日頃の疲れが癒されました。

新年会は午後8時の中締め後お開きとなり、各自宿泊先に向かいました。

－神戸市について－

人口約152万人の神戸市は、六甲山系の豊かな自然と、洗練された港の風情、そして異国情緒あふれる街並み。1995年の阪神・淡路大震災で被った大きな被害と、市民一人ひとりが手を携えて復興を遂げた経験は、日々の暮らしに生き続けています。

出典：神戸公式観光サイト



新入社員の基礎学習にいかがですか。

産業廃棄物処理 eラーニング講座 (廃棄物処理法基礎コース)

2019年度 春期 開催案内!



開講期間：第1期 2019年5月8日～5月31日
(申込受付期間：4月 3日～4月17日)

第2期 2019年6月5日～6月28日
(申込受付期間：4月22日～5月24日)

受講対象と本講座の特長

- この講座は、産業廃棄物処理に関する廃棄物処理法を習得されたい方ならどなたでも、個人単位で受講することができます。
- 受講はご自身のパソコンで行います。インターネット環境があれば、学習期間中にいつでも、どこでも自分のペースで受講可能です。
- 本eラーニング講座は、パソコンから映像を視聴いただく講義、理解度テスト、その後じっくり学習するためのテキスト教材(画面表示のみ)で構成しています。
- 理解度テストは、正解するまで繰り返し出題されますので、より理解を深めます。
- 講座の受講が修了すると、修了証を画面表示します。

【講義内容】学習目安時間：約60分

※2019年1月7日～2月15日に開催したものと同一です。

- 第1章 廃棄物処理法の目的と産業廃棄物の種類
- 第2章 排出事業者の責務
- 第3章 産業廃棄物の保管および処理に関する主な基準
- 第4章 産業廃棄物処理業
- 第5章 産業廃棄物処理施設
- 第6章 行政処分
- 第7章 産業廃棄物の委託処理と委託契約
- 第8章 産業廃棄物管理票(マニフェスト)と帳簿

講座サンプルは、下記URLにあります。

受講料：1名3,240円 (税込、通信費等は利用者負担)

お申込み方法

専用ポータルサイトにて受付。詳しい情報は、こちらのサイトより

産廃 人材育成

検索

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>



【お問合せ先】

(公社)全国産業資源循環連合会
eラーニング担当

TEL: 03-3224-0811

FAX: 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17
第2ABビル4階

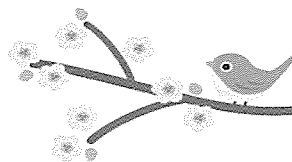
●営業時間／月～金 9:00～17:00

●定休日／土日・祝日

2019.03



私たちが創ります 地球に優しい未来社会を！



[名古屋支部]

株式会社 ダイセキ 特燃部 加藤 貴士 氏

- ①大学時代にペットボトルキャップリサイクルのボランティアサークルに所属していました。そこで、ごみであるペットボトルキャップを資源として捉え、リサイクル活動を進めていました。当社の事業もまた、廃棄物を資源としてリサイクルしていて、もったいないの精神に共通点を感じたのが入社したきっかけです。
- ②人が優しいところです。誰に相談しても全力で力になってくれます。
- ③ショッピング、岩盤浴。休みの日は、アウトレットやショッピングモールによく出かけます。
- ④誰からも頼られる存在になることです。今はまだ、ほんやりしていますが、自分だけの武器を見つけ、磨き、いち早く成長していきたいです。



<上司からの一言> 所長 宮地 芳弘 氏

今期より、顧客を担当することになりますが、若い力と幅広い分野の知識で、活躍することを期待しています。

[名古屋支部]

株式会社 ダイセキ環境ソリューション 環境事業本部 名古屋事業部 弥富リサイクルセンター 安田 智恵 氏

- ①事務職に憧れて検索していた時、この新工場ができることを知り、新しい場所で働きたいな～と思い入社しました。
- ②国内最大級の処理能力で日本全国の汚染土壌を浄化できます。
- ③ダンス、体を動かすこと、旅行
- ④やりたいことがたくさんなのでひとつずつ制覇していきたいです。



<上司からの一言> センター長 谷口 誠 氏

仕事の依頼へのレスポンスが早く、こちらが驚くほどです。協力業者の方やダンプ運転手の方にはコミュニケーションを取りながら職場全体の雰囲気のを和やかにしてもらっています。これからも持ち前のチャレンジ精神で業務の幅を広げていって下さい。

[名古屋支部]

株式会社 近藤 メディカルチーム 山口 賢汰 氏

- ①人の安全の為にを行う職種に興味があり、入社を決断しました。
- ②上司や先輩方が優しく、とても働きやすい環境です。
- ③K-POP、ドライブ、サッカー
- ④この先たくさんの経験を積み、新規契約を一つでも取れるよう、営業活動を回収業務と併せてレベルアップしていきたいです。



<上司からの一言> メディカルチーム 課長 水谷 優 氏

入社してまだ4ヶ月ですが、仕事に対する真面目さ・丁寧さは早くもチーム内で群を抜いています。これからも初心を忘れず、(株)近藤の若い世代を代表する社員になってくれることを期待しています。

この号では、会社の期待の星！と呼ばれる皆様をご紹介します。
コメントは、①入社動機 ②会社自慢 ③趣味・特技 ④将来の夢 についてです。

[名古屋支部]

三重中央開発株式会社 名古屋営業所 石尾 百々愛 氏

- ①大学時代、廃棄物分野について学んでおり、廃棄物処理関係の仕事を探していました。弊社のHPを見て興味を持ち、インターンシップに参加しました。社員の皆さんとお話する中で自分もこの会社の一員となって仕事をしたいと思い志望しました。
- ②社員の皆さんがお互いにサポートしあい、一人ではなく皆で問題を解決しようとする連携体制があります。
- ③趣味は旅行で、最近では中部地方の温泉探しに夢中です！
- ④社外、社内ともに信頼される営業マンになることです。そして今後、女性営業マンが活躍できる社内づくりに心がけていきたいです。



<上司からの一言> 名古屋営業所 所長 佐谷 幸治 氏

名古屋営業所では初めての女性営業マンです。ガサツな男性営業マンの中で紅一点、女性目線で営業所の空気を変えてくれています。「自分はこう思います」という考えをもって話してくれるのがいいですね。自分の考えと、女性らしい目線をもった営業マンとして成長してくれることを期待しています！

[名古屋支部]

株式会社 エコフォレスト 足立 佳恵 氏

- ①面接の時に未経験でも大丈夫！という心強い言葉を受け、挑戦する気持ちで入社致しました。
- ②部署に関係なく、皆さんが教えてくれます。私の今の仕事が出来ているのは、1から教えて頂いたおかげです。おやつタイムが充実しているところも自慢の一つで、お昼以外でも、午前と午後に休憩があり、自由に飲めるドリンクの種類が色々選べて、いつもお菓子が何かしらあるんです。
- ③意外に思われるんですが、ピアノとバレーボールが得意です。最近は美味しいお店を見つけることを楽しんでます。
- ④先輩方のように頼られる社会人になりたいです。ステキな旦那様探しも諦めません。



<上司からの一言> 課長 井上 翼 氏

入社して4か月になりますが、まだまだ伸びしろがあるなと感じています。今後は営業マンのサポートとして、幅広い知識の習得を心がけてほしいです。さらなる活躍が期待できる社員です。

[名古屋支部]

合同会社 R A I Z U 田中 泉帆 氏

- ①環境について興味がありました。
- ②弊社業務は思っていた以上に厳しいですが、細かなことまで教えてもらえます。
- ③ゲーム
- ④自分の会社を持つのが夢です。



<上司からの一言> 田中 郁英 氏

真面目に頑張っていると思います。これからも初心を忘れず成長して欲しいです。



[名古屋支部]

有限会社 大原ガラスリサイクル 柳田 祐希 氏

- ①事務職は未経験ですが、コツコツと集中して作業をすることが得意です。また、現場で働く方たちの役に立ちたいと思い志望しました。
- ②定時に退社ができるので、子どもの予定も入れやすくとても助かります。
- ③ネイル、DVD鑑賞
- ④自宅でネイルサロンを開くことです。



<上司からの一言> 代表取締役 大原 照平 氏

弊社の窓口業務を一手に担っております。人当たりがとても良く、電話対応やマナーなど内外からの評判も上々です。現在、様々な営業事務の業務を覚えていただいております。弊社事務所の未来のエースです。

[名古屋支部]

有限会社 大原ガラスリサイクル 庄司 明弘 氏

- ①弊社の先輩社員より、社内の雰囲気や仕事内容を聞き、社員のことをとても考えてくれている会社であることが伝わり、転職を希望しました。
- ②弊社には親孝行手当を始め、ユーモアと温かさを感じる決まりがたくさんあります。必要な資格も積極的に受けさせていただけるため感謝しています。社長を中心に社員の仲がとても良く、定期的に皆で美味しいものを食べに行きます。
- ③クワガタ、メダカの飼育、庭の手入れ
- ④転職したおかげで、家族と過ごす時間が増え、自分の時間も持てるようになりました。この時間を有効に使い、生涯続けられる趣味を増やしていきたいです。



<上司からの一言> 代表取締役 大原 照平 氏

弊社社員の紹介で入社していただきました。責任感が強く情熱に溢れており、そのエネルギーは随一です。人当たりも良く、入社間もないにも関わらず雰囲気づくりに一役買ってくれており、弊社のムードメーカーとして、なくてはならない存在です。

[名古屋支部]

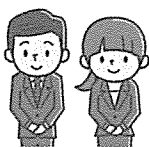
有限会社 大原ガラスリサイクル 川田 樹 氏

- ①何かを作り世の中の役に立つような仕事を希望しており、いろいろ調べていく中で今問題になっている環境問題やリサイクルに関わる仕事ということでこの会社に興味を持ちました。
- ②皆が仲良くアットホームな雰囲気です。上司や社長にも意見が言いやすく、独自の手当など福利厚生がしっかりしている。
- ③読書、料理
- ④公私問わず、人に頼られ、それに応えられる人間になりたい。



<上司からの一言> 代表取締役 大原 照平 氏

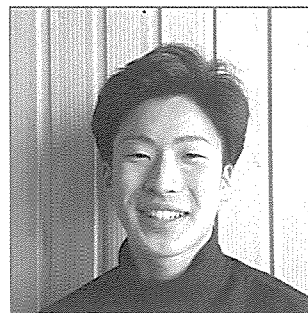
真面目で優しい彼は、意識も高く、勤勉でコツコツと真剣に業務に取り組んでくれています。周囲からの信頼感も高く、未経験でありながら入社直後から弊社の主戦力です。秘めた能力とその伸び代は将来への大きな可能性を感じさせてくれます。



[名古屋支部]

株式会社 ケイズエコロジーテクニカル 西尾 太一 氏

- ①会社の設備や社長の人柄が良かったので入社を決めました。
- ②あらゆる店舗から工場、大型施設まで対応していて設備清掃のプロフェッショナルです。
- ③趣味はテレビゲームやアニメを見る事。特技は細かい作業をすることです。
- ④将来の夢は上司の人たちより仕事が出来ようになる事です。



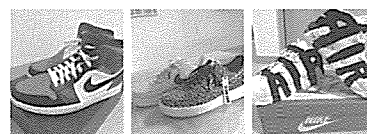
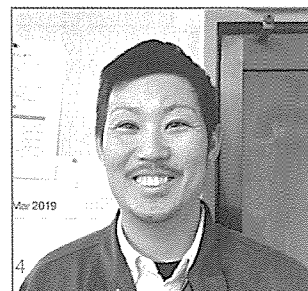
<上司からの一言> 業務部 課長 飯田 将也 氏

まだ若く、仕事も分からない中、段取りの良さ、実行力のセンスを感じます。今後は、安全で丁寧な仕事を覚えてもらい会社として、人として無くてはならない存在に成長してほしいと思います。

[尾張西支部]

サトマサ株式会社 伊藤 昌孝 氏

- ①友人からの紹介もあり、仕事の内容を聞くと廃棄物処理業ということで、前職はプラスチック加工会社に勤めており、同じではないですが、廃棄物としては似ている部分もあり面接を受けました。
- ②弊社の企業理念でもある、“安全で安心”を心掛けており、お客様からの信頼も厚く、お客様から連絡があれば、即行動し対応できる会社です。
- ③野球観戦とスニーカー収集が趣味です。野球に関しては、中日ドラゴンズのファンでドームへ観戦によく行きます。スニーカー収集では特にNIKEが好きで、30～40足ほどコレクションしています。
- ④沖縄への移住です。新婚旅行で沖縄の離島へ行った際、とてもすばらしい景色と島の温かな人柄に感動し好きになりました。



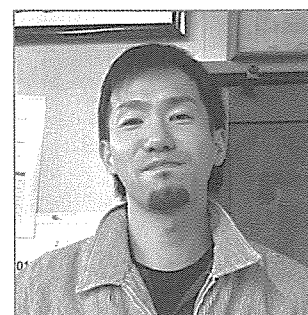
<上司からの一言> 佐藤 慶治 氏

収集運搬と場内作業をしっかり両立してくれています。温和で落ち着いた人間性で確実な仕事をしてくれます。又クールな一面もあり、違う角度からの率直な意見に刺激を受けています。益々の活躍を大変期待しています。

[尾張西支部]

サトマサ株式会社 長谷 竜次 氏

- ①聞いたことも無い、やったことも無い、職種だったため、すごく興味を持ちました。又、体力には自信があったため、面接を受けました。
- ②入社してみて、産業廃棄物処理業をやってみると驚くところが沢山あり、すごく大変な職業だなと、実感させられましたが、先輩方が優しく丁寧に接してくれる職場なので毎日楽しみながら仕事させて頂いています。
- ③スポーツ全般、アウトドア（BBQ 限定）
- ④ナイアガラの水を一度は見たい。



<上司からの一言> 佐藤 慶治 氏

工場内作業の中核となり、スマートで黙々と仕事をしてくれています。ポジティブな思考者で明るく毎日元気な姿に感銘を受けています。今後益々の成長に大変期待しています。



【尾張北支部】

株式会社 東伸サービス 業務課 吉瀬 健二 氏

- ①私は前職で郵便配達をしており、初めて担当した地域に東伸サービスがありました。配達する際に、社員全員が起立して挨拶をする姿に大変驚き、「すごいな」と感じていました。その後、転職を考えた際に偶然今の会社が説明会を開いていたので未経験ではありますが、この縁を大切にしたいと思い入社しました。
- ②个性的な先輩方が多く、皆さんとても優しく接してくれています。外部からの印象と実際に勤務して感じた誤差が殆どなく、働きやすく魅力的な会社だと思います。
- ③バスケットボールが趣味で週に2回ほど行っています。
- ④まずは業務をしっかりと覚え自信をつけることです。明るい家庭を持つことが将来の夢です。



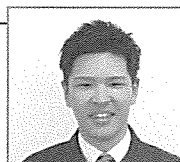
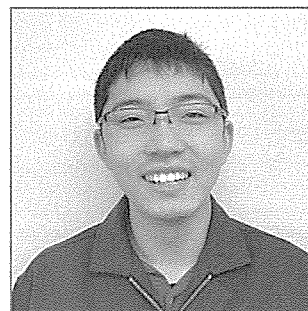
<上司からの一言> 本社事業部 部長 石川 隆幸 氏

社内一番の長身であり、まさしく「大型新人」登場で期待も非常に大きいです。入社してからは、3か月研修後、日進プラント事業部内での中間処分業務を経て、現在本社業務課へ配属となり収集運搬や清掃業務など、先輩たちに早く追いつけの勢いで、日々一生懸命業務に励んでおります。性格は明るく、気さくであり、先輩や上司からも好かれております。弊社の業務は多種、多様性に対する対応力が求められますが、今後十分適応していく能力があると信じています。

【尾張北支部】

有限会社 愛知環境センター 管理部 吉田 昂晃 氏

- ①前職は製造業だったのですが、その時に出土た多くの廃棄物はどのように処理されているのか興味がありました。そんな時に弊社のことを知り、廃棄物処理の仕事をしてみたいと思い入社しました。
- ②工場内がいつもきれいなところ。弊社は当日処理が原則で廃棄物をためません。一日の作業は工場内をくまなく掃除して終了します。
- ③花や野菜を育てること、ツーリング、洗車、ドライブ
- ④今はまだ先輩方に頼ってばかりなので、自分が率先して動けるように少しずつ成長していきたいと思っています。



<上司からの一言> 取締役 東久保 翔平 氏

色んなことに興味を持ち先輩たちに食らいついていく姿は、非常に頼もしく感じています。さらなる成長を楽しみにしています！

【尾張北支部】

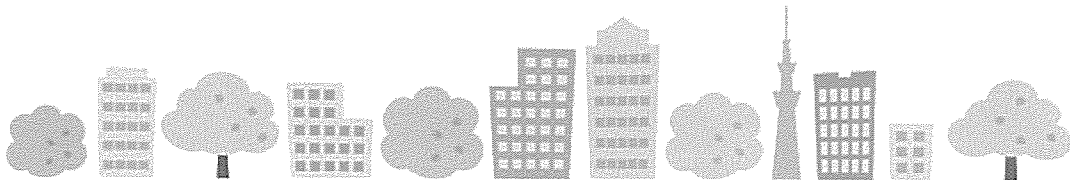
大和エンタープライズ株式会社 総務課 経理係 安藤 妙子 氏

- ①経理業務を習得してみたいという思いと、これからますます深刻化していくであろうごみ問題に直接携わっていきたいという思いで志望しました。
- ②色々なイベントが盛り沢山にあるので、仕事以外では役職・年齢・関係なくフレンドリーで、アットホームな会社です！
- ③ドライブしながら、道の駅めぐりをしたり、神社やお寺を巡って御朱印を頂くことです。
- ④廃棄物処理や経理の事を後輩に自信を持って教える事が出来て、信頼される先輩になりたいです！



<上司からの一言> 総務課事務長 松尾 幸樹 氏

持前の明るさと笑顔を大切に、入社したての頃の謙虚さを忘れず業務に取り組む姿勢は皆の模範となります。特に会社の中核を担う経理部門の担当という事で、神経を使うという点は他部署以上だとは思いますが、これからはお互い一生懸命にそして楽しく頑張っていきましょう！



【尾張北支部】

フジ建設株式会社 リサイクル事業部 営業課 中村 彩香 氏

- ①求職活動中に何故だか当社の求人が目に留まりました。面接の際、とても丁寧、親切に対応してくれたことが印象的で入社を決めました。
- ②毎年恒例の社員旅行や忘年会は勿論、最近では同じ誕生月の社員さんとの懇親会や社内レクリエーションなど社員さん同士の交流が盛んです。
- ③旅行、ショッピング
- ④まだまだ勉強中の身ですが、お客様に信頼される営業パーソンになる！



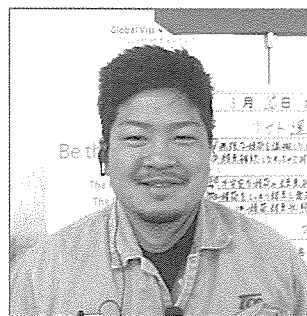
<上司からの一言> リサイクル事業部長 神谷 健明 氏

事務職から営業職に転身して9ヵ月。初めての経験ばかりで戸惑いも多かったかと思いますが、最近は徐々に自信がついてきたのか頼もしくなってきました。どんなことにも前向きにチャレンジする姿勢は先輩社員にとっても良い刺激となっています。

【尾張南支部】

豊田ケミカルエンジニアリング株式会社 資源環境部 物流管理グループ 安藤 隆真 氏

- ①環境問題が深刻になっている中、自分に何ができるかを考えたとき、世の中の廃棄物の処理と環境の関係性に興味を持ち入社しました。
- ②幅広い年代の方々がいますが全員がフレンドリーで和気藹々としているところです。
- ③バイク、BBQ、映画鑑賞
- ④ダンディーなお爺さんになること、大きな家を建てること



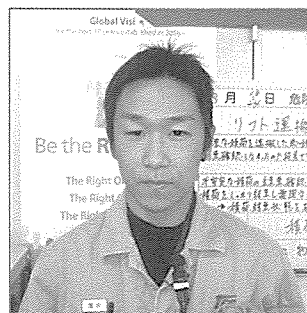
<上司からの一言> 資源環境部 物流管理グループ グループリーダー 松井 克介 氏

入社2年になりますが、通常業務以外の業務にも率先して取り組む姿勢は素晴らしいことだと思います。今後は今まで自分が行ってきた仕事に対する姿勢を後輩にも受け継いでいってください。

【尾張南支部】

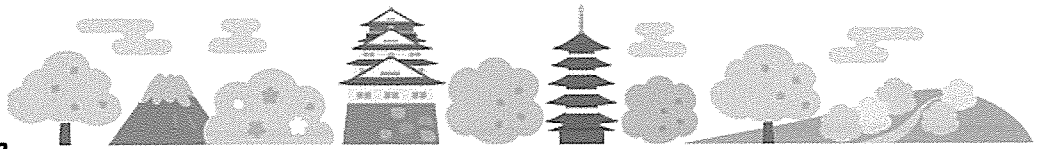
豊田ケミカルエンジニアリング株式会社 資源環境部 物流管理グループ 清水 智彦 氏

- ①社会貢献できる職業に就きたいと考えていたところ、知り合いに弊社を勧められ、ここでなら社会貢献できると思ったからです。
- ②昼食が200円で定食を食べることができ、しかもご飯・味噌汁・漬物が食べ放題のところなんです。
- ③趣味：映画鑑賞、特技：バトミントン
- ④世界中の世界遺産を周りたいです。



<上司からの一言> 資源環境部 物流管理グループ グループリーダー 松井 克介 氏

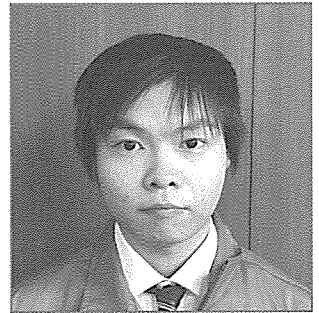
入社して1年になりますが、体育会系らしく元気よく仕事に取り組んでいるように思います。判らないことがあれば積極的に先輩に質問できるようになってきたと思いますのでこれからも頑張ってください。



[尾張南支部]

株式会社 サンコーリサイクル 環境部 鈴木 悠一郎 氏

- ①大学では土壌分析を行うゼミに所属していました。ゼミ活動で学んだ知識や経験を生かせる職に就きたいと考えていた頃、弊社の先輩社員より社内の雰囲気や仕事内容を教えていただき、大学で培った自分のノウハウを生かしていける職だと思い志望しました。
- ②アットホームな雰囲気で福利厚生がしっかりしている。
- ③スポーツ、読書
- ④何事にも真面目に取り組み、人に頼られそれに応えられるような人間になること



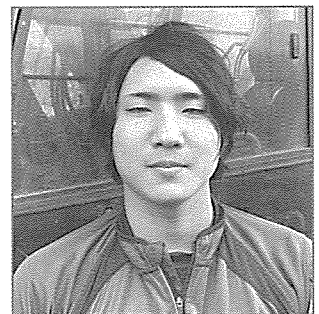
<上司からの一言> 環境部 主任 宮田 遊磨 氏

今年度唯一の新卒入社。入社初日から緊張している素振りもなく、地に足のついた器の大きさがうかがい知れます。物おじせずに様々なことに挑戦し、新しい仕事をどんどん覚えてください。分からないことはこれから丁寧に指導していきますが、まずは新入社員ならではの弾けるような若さを存分に振りまき、会社全体を活気づけてくださいね！

[東三河支部]

加山興業株式会社 工場部 サーマルプラント 酒井 拓斗 氏

- ①高校の会社説明会の話聞き、普段何気なく捨てていたごみに関し身近な仕事だが自分の知らない仕事でもある事に気づき廃棄物処理に興味を持ったからです。
- ②新しく学ぶ事が多いので、常に新鮮な気持ちで仕事ができ、やりがいを感じながら成長させてくれる所です。
- ③趣味はスポーツで体を動かす事や幅広い年齢層の方々と話をする事が好きな為、コミュニケーション力を高め特技にしていきたいです。
- ④知識レベルと経験を積み、上司の様な人になり人の上に立ちたいです。



<上司からの一言> 工場部 工場長 佐々木 宏直 氏

入社してもうすぐ1年になりますが、明るく元気で先輩たちにも可愛いがられています。作業面での吸収も早く、臨機応変に対応している姿も頼もしいです。まずは安全第一に、今後の活躍に期待してます。

[東三河支部]

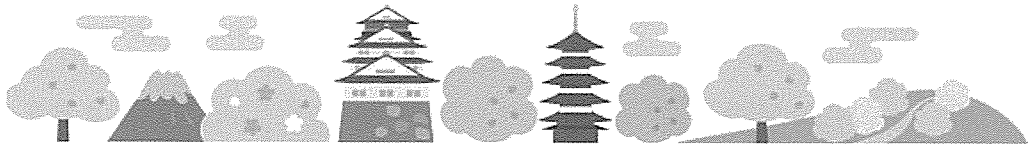
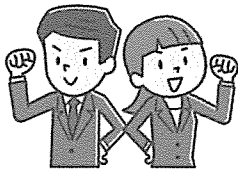
加山興業株式会社 企画部 phengpaseu SOUKSAVANH (トウイ)

- ①大学時代では環境について勉強したため、自分の専門、知識を活かして、環境に関わる仕事に携わりたいです。また、日本とラオスの架け橋になりたいくて、弊社はラオスの母国に廃棄物問題の改善の提案も行っているの、入社致しました。
- ②弊社産業廃棄物中間処理業から環境ソリューション事業まで行っている企業で、積極的に国内のみならず海外でも環境活動に取り組んでいます。社員の皆さんが優しくて、いつも仲良くして頂くので働きやすい会社だと思います。
- ③趣味はサッカー、読書です。また、人々と交流するのも好きで、特に成功者と話すのが好きです。
- ④一日でも早く仕事を覚え、たくさん経験を積み、上司から仕事を任せられるようになりたいです。また、日本の廃棄物処理技術・知識、スキームを吸収し、弊社と一緒に母国の廃棄物問題改善に貢献したいです。更にラオスの環境保護にもっと貢献したいため、環境ビジネスについて起業したいです。



<上司からの一言> 企画部 部長 田畠 真一 氏

「頼まれごとは、試されごと」、いつも頼まれた仕事を的確かつ自分の意見も織り交ぜて提案できるトウイ君。いつも安心して仕事が任せられます！これからも様々な仕事を経験し、知恵や質に変えて活躍してくれることを期待しております。

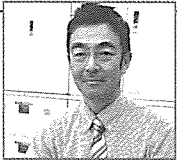


[東三河支部]

加山興業株式会社 営業部 寺西 悠里 氏



- ①廃棄物はなくなることはなく、今後必要とされる仕事だと思ったからです。また、地域に密着し、地元の東三河に貢献できる仕事である点も大きな魅力のひとつです。
- ②他部署の人にも気軽に質問や相談ができ、会社全体の雰囲気がとても明るい点です。
- ③趣味は友人と出かけることです。すべての都道府県に足を運びたいと思っています。
- ④今は先輩方の真似をして必死に仕事を覚えている途中ですが、一日でも早く人に目標とされる社会人になりたいです。

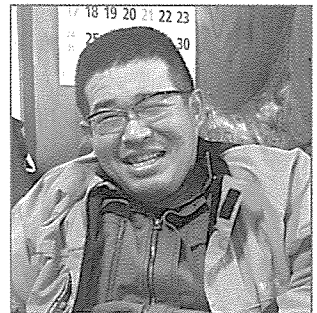


<上司からの一言> 営業部・管理部 部長 星野 潤 氏

度胸があって愛嬌もある男前な寺西さん。まだまだ経験、知識は足りませんが仕事を一つ一つ大切に真剣に向き合って成長しお客様から営業として信頼されるように頑張ってください。

[東三河支部]

株式会社 みかわ屋 野口 裕介 氏



- ①解体の仕事に興味があったのと、人の役に立つ仕事をやりたと思ったからです。
- ②あまり上下関係がなく、新人であってもすぐに馴染めてわからないことなども聞きやすいです。
- ③趣味は気分転換にドライブをしたり、車をいじったりすることです。
- ④資格を習得して、いろいろな仕事を覚えて現場で活躍できるようになりたいです。



<上司からの一言> 代表取締役 牧野 卓己 氏

入社3ヶ月、昔経験してたこともあり、頑張ってくれています。不器用なところもありますが先輩たちにとってもかわいがられています。これからの活躍に期待しています。

[東三河支部]

株式会社 みかわ屋 佐藤 智子 氏



- ①「ブログ投稿」や「オークション出品」など、他の会社にはない仕事内容に惹かれ、ホームページを見てここで働きたいと思い志望しました。
- ②入社前は不安でしたが、みんな明るくて優しいです。福利厚生もしっかりしていて休みもとれるホワイトな会社です。
- ③趣味はライブに行くことで、友人とコールを叫んでる時が人生で一番楽しいです。特技はタイピングでブラインドタッチができます。
- ④将来は母に家を買うことが夢です。そのためにも資格を取り、自分の価値を高めていきたいと思っています。



<上司からの一言> 代表取締役 牧野 卓己 氏

やっと入社1ヶ月焦らずに好奇心を持って一個一個着実に仕事を覚えて僕たちを助けてくれるようになってくれると思います。仕事を頼んだ時の返事は『了解です!』



産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例

株式会社 明輝クリーナー

安全衛生情報では会員各社へ伺い、社内における安全衛生の具体的な取組事例をご紹介します。

今回ご協力いただきました会員企業は、昭和47年塵芥処理業を豊橋市にて創業、昭和52年に「(有)明輝クリーナー」を設立、平成5年「(株)明輝クリーナー」へ組織を変更。産業廃棄物焼却・選別施設をいち早く導入、産業廃棄物の減容化および安定化に取り組み「地域で困った時にメイキあり。」との賞賛を受けるまでになる。平成30年4月小島孝信氏が二代目の代表取締役社長に就任、社内の人間力を育むために社員一人ひとりの個性を活かした社内の組織改革を行いました。新生(株)明輝クリーナーとして安全衛生の取り組みについて、代表取締役 小島孝信氏、経営企画室長 高橋進太氏にお話を伺いました。

◆安全衛生委員会（安全衛生委員9名）

安全衛生委員会の委員長は小島孝信氏、委員は入社5～6年目の若手社員が担当。安全な職場環境を維持するため毎月産業医による職場環境チェックを行い、その結果を委員会で精査し社内の安全衛生を推進する上で役立てています。

委員会は下記四つのセクションで構成。

▶労働衛生管理担当

・安全作業への取り組み

高所作業所（煙道）への手すり設置①②、施設内の危険箇所に反射ミラーを設置③

・安全衛生への啓発

作業前の指差し呼称④、無災害記録の掲示⑤、訓練報告の掲示⑥

・安全・安心のために

新入社員研修として救命救急講習を実施⑦・安全教育施設



安全衛生委員会の開催状況

への研修を実施

▶リスクアセスメント担当

・安全パトロールを実施

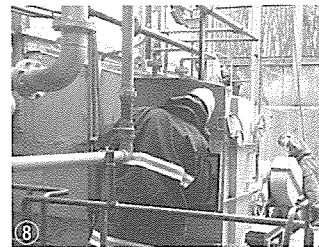
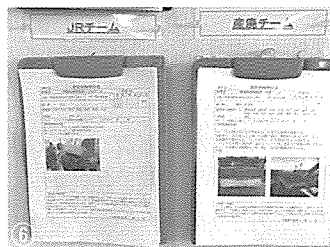
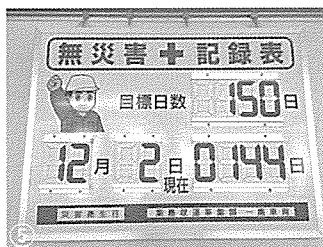
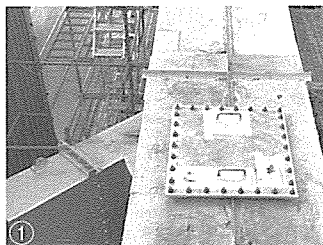
・作業車に検査官が同乗しドライバーのチェック

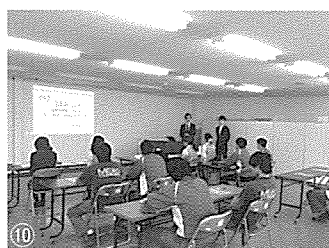
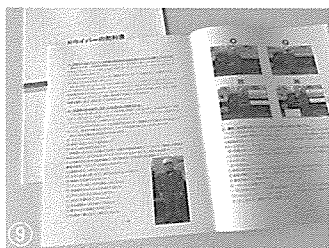
・休業日に焼却炉の定期修繕

焼却炉灰出し作業における防護服・保護具の着用の徹底⑧

▶交通安全担当

・業務車両担当者による棚卸会議／月1回





・安全教育

ドライバーの教科書⑨、安全教育の講習会、優良ドライバー検定に向けての社内勉強会⑩

- ・事故発生時、緊急ミーティング開催
- ・車両の安全について

収集車両の四隅にコーナーセンサー設置⑪、バックモニター搭載⑫、タブレット式顧客情報システムで収集現場までの道順や注意情報をチェック⑬、車両点検の講習会⑭、運転操作訓練

▶BCP（事業継続計画）担当

策定目標は2020年

- ・ハザードマップを作成→避難経路
- ・緊急災害ダイヤルの設定
- ・避難訓練の実施

消火器の使い方、シェイクアウト訓練、避難訓練、消防署との共同訓練⑮、台風チェックリスト

◆エコスタッフジャパン（ESJ）

・ESJアワード 最優秀賞2年連続受賞（2016、2017）

全国52社の認定を受けた処理業者の中で、同社は2年連続最優秀賞を受賞⑯

◆意識変化による結果

・これまでの事故発生件数

31件（'14）、16件（'15）、11件（'16）、6件（'17）

全社を挙げての安全衛生の取り組みが、従業員の安全への意識改革となり事故発生件数の減少につながりました。今後は事故ゼロを目指していきます。

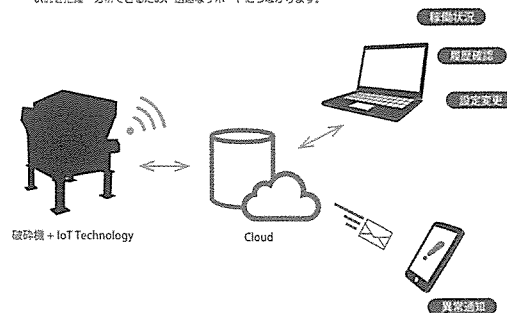
代表取締役 小島氏は、「新組織を構築する上で安全衛生委員会の強化を図りました。私自身も現場における点検時の目視・振動音等の確認等実践的な指導を行い、作業を守る品質の高い防具へもこだわり、現場からボトムアップされた要望をスピード感を持って具現化してきました。このように社員と共に作り上げたことが皆の意識改革へとつながったと感じます。また人材育成を重視した若手の幹部への起用も功を奏し、役職を担う職責から各自の業務遂行能力が向上しました。一連の取り組みにより社内はより活性化し、情報機器を活用したタイムリーな情報共有等、安全第一、効率的な働きやすい職場として成長しつつあります。今後は技術者集団として“明輝マインド”（安全品質）の、予測を立てて仕事をする、仕事の意味、使う施設、車両の構造を理解する、を周知徹底していきます。」と述べました。

一最新技術の導入一

IoTテクノロジーを搭載した破碎機を今期導入します。破碎機の処理状況はインターネットを通じてクラウド（サーバー）へ送ります。クラウドでは送信されたデータを一元管理し、さまざまなサービスを提供します。破碎物の変化による回転数や刃の強度は、メーカーとの情報共有により最適な稼働状態が保持されます。また、異常な兆候が見られた場合は担当者や事務所に通知され、速やかに対策を講じることができます。このようにネットワークを通じ遠隔にて監視、予知保全をすることにより安全に配慮した作業環境になると考えられます。

NEW 破碎機 遠隔監視システム

破碎機の稼働状況を遠隔で監視し、最適な運転内容の提案、設定変更、異常の予知提案など、安全で安定したご使用をサポートします。また異常発生時は担当や本社へ通知され、訪問的に状況を把握・分析できるため、迅速なサポートにつながります。



企業訪問 資源循環レポート

アルメック（株）大府工場

経営理念は「資源に無限の夢を。」
社員全員の物心両面の充足と
幸せを実現し
百年企業を目指す。

アルメック（株）



大府工場

アルメック 株式会社

■代表者／代表取締役 星河秀樹

■所在地／大府市北崎町遠山 1 4 3 番地

TEL 0562-44-1159 FAX 0562-44-3789



常務取締役 星河重仁氏（左）と課長の野々口慎氏（右）

昭和34年、豊明市前後町にて初代社長 星河仙吉氏が「星河商店」を創業。昭和43年「有限会社 星河商店」を設立、同年豊明第一工場が竣工し大型設備機器を徐々に増設、時代を先取りいち早く資源のリサイクルに取り組む。平成23年、四代目 星河秀樹氏が代表取締役に就任。同社は自動車産業等の生産現場や解体現場から発生した、役割を終えた金属製品（鉄、ステンレス、銅、真鍮、アルミニウム、レアメタルなど）、樹脂の端材を回収。集荷物は品種ごとに加工し原料として再生され、大手鉄鋼メーカー、大手商社などに出荷、あらゆる資源をリサイクルする事により環境保全に貢献し循環型社会の構築に寄与している。

企業の生産性を高めるうえで必要とされる人材育成の在り方について、アルメック（株）常務取締役 星河重仁氏、総務部課長 野々口慎氏にお話を伺いました。

■新卒採用実績

毎年3名程度の採用を目標に活動を実施。10期生までの採用実績は、男性－19名、女性－10名。在籍人数は、男性－14名、女性－4名。2018年10月現在の定着率は62%

採用活動は、インターンシップ（金属リサイクルについての説明の後、社員から道具の使い方等を説明し、実技を実施）、会社説明会、合同企業説明会、大学の学内説明会などへ参加。

同社が求める人材とは、『経営理念を理解し、共

感できる人』。しかし理念の共感は筆記試験とは異なり、目に見える基準が存在しないためコミュニケーションが重要。面接官は学生に、アルメックでどんな仕事がしたい？等の質問をして、相手の美点を捉え損なうことが無いよう面談を進めていく。会社と学生にとってベストな結論を出すために徹底的に話し合いを行っている。

■人財確保・定着

『経営品質』の4本柱」の考え方に基づき、自社の発展及びステークホルダーにも喜ばれる取り組みを実践。4本柱の考え方は良い組織作りの基本となっている。中でも優先されるのが“社員重視”であり、次に“顧客本位”“社会との調和”“独自能力”となっている。なぜ“社員重視”がトップなのか？それは、本当のお客様重視の仕事をするには、仕事をする人の質が最も重要であると考えためである。

■「4本柱」の取り組み事例

▶社員重視

・社員満足度調査を実施

質問内容：経営の方向性、直属の上司、仕事、対人関係、職場環境や福利厚生その他について。直近の満足度は92.5%。

・各種勉強会の開催

ドライバーの事故防止を過積載、重機の安全、法律研修、改善提案の活性化、目標管理研修他

・社内イベント実施

社員旅行、BBQ大会、クリスマス会（A）、誕生日食事会、情報共有ツール「TUNAG」他

・健康経営

健康宣言、女性の作業環境整備（B）（現場に女性が一名在籍）、ストレスチェック、カウンセリング面談、おねむり保健室、禁煙セミナー他 健康経営優良法人（2018・2019）

・安全衛生

安全大会、朝礼後のKYT活動、標示類の整備、暑さ・寒さ対策、コンサルタントによる指導

▶顧客本位

・顧客満足度調査の実施

質問内容：社員の挨拶・言葉遣い、営業頻度、安全への配慮、車両メンテナンス他
直近の満足度は92.1%

・改善提案制度

顧客により良いサービスを展開するため「改善提案制度」を導入。優秀事例は表彰される。今後はQCの導入を目指している。

▶社会との調和

小学生向け工場見学会（C）、小学校への出前授業、地域清掃活動／月2回（D）、優良従業員表彰（E）、自治会行事の準備・手伝い（ボランティア活動）、商工会祭り等への協賛。

▶独自能力

・人事評価制度

査定時に「着眼点一覧表」及び、部門・等級別の「職務遂行明細」にて評価。「役職・等級制度」導入と合わせ公正かつ厳格な人事評価制度を構築。

・社員総会開催により全社の方向性の統一、目標の共有化（F）

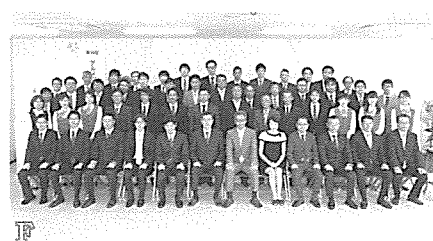
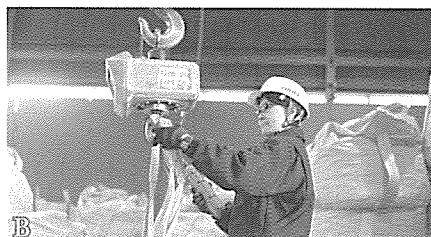
・2018年愛知環境賞、優秀賞受賞

受賞テーマ：業界初の「水を使ったJIGによる金属残さの選別」

社内木鶏クラブ

スタートは2008年。以降毎月開催し2016年12月で通算100回を突破。ルールは「美点凝視（相手の良い所を見る）」に徹し前向きな発言をすること。

社内木鶏クラブの効用は①先達の経験や考え方を、読書（指定箇所）を通じて学び取る。②本を読み、感想を書き、発表をするというプロセスを通じて仕事に必要な基礎的能力を養う。③社員間のコミュニケーションを活発にする。以上が挙げられる。この活動から社員の読解力や文章作成能力が向上し、プレゼンテーション技術が磨かれ、日常業務のスキルがアップした。



<正会員>

株式会社 環境むかい（代表取締役／遠山大樹）
〒441-2433 愛知県北設楽郡設楽町川向字向山6番地2
TEL.0536-62-0815 FAX.0536-62-0815

「適切な運搬は、適正処理の第一歩」

弊社は、東三河山間部を中心に廃棄物収集運搬業を行っています。

伐採木くず、燃え殻、ばいじん、汚泥、建設系混合廃棄物など、あらゆる廃棄物の性状、荷姿、数量等を考慮し、衛生的且つ安全で効率的な運搬を行うべく、日々の業務に取り組んでいます。

末筆ながら今後、先輩会員の皆様には、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



<正会員>

マル力建設 株式会社（代表者取締役／尾崎和寿）
〒443-0105 蒲郡市西浦町中屋敷17番地
TEL.0533-57-1017 FAX.0533-57-9466

<正会員>

株式会社 I M A Z（代表取締役／今津直樹）
〒475-0067 半田市乙川畑田町一丁目8番地
TEL 0569-23-1030 FAX 0569-23-1037

弊社は下水道維持管理を主要事業として行っています。現在の社会生活では水に関わる環境は生活に欠かせない部分であり、健全で安心したより良い社会生活をおくるためには水に関わるすべての施設の維持管理が必要です。

弊社では24時間、365日の体制で安心して生活できる環境と地域環境の保全に取り組めます。

一秒でもはやく駆けつけ、より迅速により良いサービスをより安全に提供してまいります。



■新規入会者許可取得内容

区 分			産業廃棄物																			特別管理産業廃棄物																許可期限日 産廃 (特管)	他府県 許可				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			16			
会社名 代表者 〒 本社住所 TEL FAX	業の区分	許可先	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ダスト類	第13号廃棄物	動物系固形不 要物	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性産業廃棄物	特有PCB等	特有PCB汚染物	特有指定下水汚泥	特有鉱さい	特有廃石綿等	特有ダスト類	特有燃え殻	特有廃油	特有汚泥	特有廃酸	特有廃アルカリ	特有PCB処理物					
(株)環境むかい 遠山大樹 〒441-2433 愛知県北設楽郡設楽町 川向字向山6番地2 TEL 0536-62-0815 FAX 0536-62-0815	収集運搬	愛知県																																							H35.8.5 (一)	—	
マルカ建設(株) 尾崎和寿 〒443-0105 蒲郡市西浦町中屋敷 17番地 TEL 0533-57-1017 FAX 0533-57-9466	収集運搬	愛知県						●	●		●			●	●		●																									H33.2.7 (一)	—
	中間処理	愛知県																																								H33.2.23 (一)	—
(株)IMAZ 今津直樹 〒475-0067 半田市乙川畑田町 一丁目8番地 TEL 0569-23-1030 FAX 0569-23-1037	収集運搬	愛知県																																								H35.10.22 (一)	—

■ 取扱える廃棄物の種類(積替保管なし)

● 〆 (積替保管あり)

笑顔でつなく、未来へつなく 職場リレーの女子駅伝 株式会社アグメント

職場リレーの第七走者は、株式会社 アグメント（代表取締役 今津悠見氏 愛知県知多郡阿久比町大字 草木字末広22）の今津氏です。昭和60年創業、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集・運搬・処理を行っています。平成22年食品廃棄物リサイクルシステムとして「アグエコ（AGUECO）プロジェクト」を立ち上げ、食品残さで堆肥をつくり自社管理の農場で野菜やハーブ、穀物（主にそば）を栽培しています。いち早く資源循環のビジネスモデルを構築、今回は地域の人と資源をつなげる「つながる、チカラ。」について今津氏にお話を伺いました。

★自己紹介をお願いします。

今津：学卒で入社し最初は経理業務を担当しました。就業中に各種実務の資格を取得、現在は父である会長から社長を引き継ぎ3年経ちました。



代表取締役 今津悠見氏

★社員の方の働き方についてお聞かせください。

今津：当業界も昨今は社会的背景もあり女性の働き方への意識が高まり、女性社員の定着率を上げるうえでも勤務体制における配慮は欠かせません。育児期間の残業時間を減らす取り組み、子育ての悩み等を気軽に相談できる社内の雰囲気作り、個人面談による話し合いなどを実践しています。今後は多種多様な働き方、ダイバーシティ経営にも対応していきたいと考えています。

また、弊社社屋は閑静な住宅街にあり、築後30年経過しておりますが、緑あふれた空間は今なお働く者に安らぎを与えてくれます。このような恵まれ

た職場環境にありましたので、私自身も環境に関わる業務に専念することができたと感じます。休憩所にはハーブが多数寄せ植えされているので、特にこれからの季節は社員の皆さんの憩いの場所となります。

働き方については、社員の個々の環境を配慮した取り組みを重視し、さらに働く環境づくりの整備、の両面から支えていきたいと思っています。

★雇用対策・人材育成についてお聞かせください。

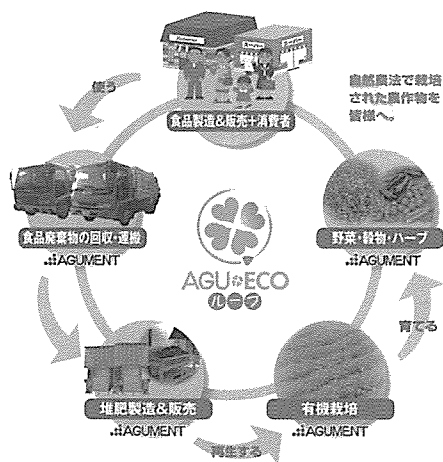
今津：弊社では新卒社員の採用を積極的に行っていますが、近年は全体的に求人数の減少がみられます。

会社説明会では、企業の取り組みを魅力的に伝え、当業界の社会的意義について理解が得られるよう誠意を持って対応しています。

入社後の人材育成は、教育担当、上司等により研修が行われますが、業務上の実務の習得は、協会主催の各種研修会を積極的に受講しています。企業理念である「人と環境を大切に、美しく共に生きる」を社員一人ひとりが実践することにより意識の向上を図り、かつ循環型社会の構築を担う一員であることに誇りを持ち、社会貢献を通じて業界の社会的地位の向上を目指しています。

★御社の環境リサイクルビジネスについてお聞かせください。





今津：2010年にスタートした食品リサイクルシステム「アグエコ（AGUECO）プロジェクト」は、Aguriculture：農業 Ecology：環境 Economy：経済、の三つの要素を兼ね合わせ、食品残さで堆肥を製造しています。再資源化された堆肥は農場にて農作物（野菜・穀物・ハーブ）が栽培され、中でもそばは「知多美人そば」としてブランド商品化し、地域の特産として販売しています。このように「食」、「農業」、「里山」といった地域の資源をつなげ、効率的・持続的・安定的に維持・循環させながら利用する取り組みを行っています。その他にも間伐された竹を地域資源としてとらえ、有効活用することにより里山保全に取り組んでいます。このように地域資源を守りながら生かす取り組みは、地方創生の原動力となり企業理念につながります。

今後は持続可能な循環型リサイクルを継続的に実現するためには、排出事業者との連携（理解と協力）が必要となり、食品リサイクルから環境に対するポリシーを一致させることによりはじめて実現可能となります。女性ならではの目線で、仕事や地域とつながる事で新しい力を生み出していきます。

★最後に次の企業さんへのメッセージをお願いします。

昨年度から青年部に入会し、先輩経営者から実務的なアドバイスや学びを得ています。研修会だけではなく、ゴルフコンペにもできる限り参加し、多くの方々との交流を大切にしています。

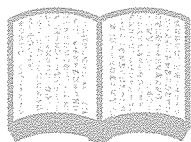
私自身も社長就任後、「つながる、チカラ。」と題しゴルフコンペを企画して毎年開催をしています。コンペは業界の方々や地元の方々の交流の場として多数の方が集い、景品も地域の物産品を配るなど趣向を凝らしています。女性ならではの発想を、会社の経営のみならず社外においても発揮しています。

業界内でも女性の経営者が増え、これから活躍の場が益々広がることはとても楽しみです。

二代目社長としての意気込みが感じられるインタビューでした。取材時自家製のハーブティが出され、優しい香りに癒されました。今津氏の心配りに感謝の念と、オーガニックライフだからこそその環境への取り組みに期待が高まります。



法律診断



牟田美智代事務所

社会保険労務士・特定行政書士

厚生労働大臣認可・労働保険事務組合 どりかむ21 運営

TEL 052-681-6006

～働き方改革 時間外労働に上限～

健康診断 全員受診しました！ それで… 労働時間把握義務

健康診断実施後の措置等

「健康管理時間」ひと月当たり80時間を超えた時間外労働者の医師への面接指導

労働時間の適正把握 「客観的方法による“労働時間の把握義務化”」

労働者の心身の情報に関する情報の適正管理

先回は、「残業時間上限規制」についてお伝えしました。今回は、「健康管理」改正労働安全衛生法についてお伝えします。

健康診断実施後措置

これまでは、「健康診断を受けましょう」でした。これからは、「健康診断結果は？」と、異常所見があると判断された社員についても、会社は医師の意見を聴き、それに応じた措置をとる義務があります。というように、受診が目的ではなく、会社は社員の健康状態を把握、管理をしていく必要があるということです。一億総活躍社会の実現を目指して働き方改革が進められています。多様な働き方も可能となることから、より一層の健康管理が重要となります。

ひと月時間外80時間超！

1か月の時間外労働が80時間を超えた社員から医師の面接指導を希望する申し出があった場合、会社は医師の面接指導を受けさせなければなりません。これまで、100時間超えでしたが80時間超えに引き下げられました。

新入社員や一般職の方は該当しないと思いますが、管理職は要注意ですね。

労働時間の適正把握

会社は、社員の労働日ごとの始業・終業時刻を確認・記録し、これを基に何時間働いたかを把握・確定します。

その方法は、1) 使用者が、自ら現認することにより確認し、記録すること。2) タイムカード、ICカード等の客観的な記録を基礎として確認し、記録すること。さらに例外として、3) 自己申告制により始業・終業時刻を確認し、記録すること会社が自ら現認することにより確認し記録することとされています。

この3) 自己申告により把握した労働時間が実際の労働時間と合致しているか否かについて、必要に応じて実態調査を実施します。

また、それらの労働時間の記録に関する書類について、労働基準法第109条に基づき、3年間保存が義務です。

これらについては、ガイドラインにも定められていましたので皆様ご存じだろうと思いますが、実際の運用はいかがでしょうか。

管理監督者、みなし労働時間制適用者

経営者と一体となり労働条件の決定その他労務管理を行う「管理監督者」は、残業手当の対象外(深夜残業は対象)とされていますが、この時間管理や健康管理については対象となります。

働き方改革を推進していく中で管理職へのしわ寄せ、責任と労働時間は増える一方ではありませんでしょうか。

会社だけでなく、働く人ひとり一人が自分自身や一緒に働く人々の安全衛生、労働環境に配慮することが必要ではないでしょうか。

事務局だより

平成30年度 第5回理事会

■開催日 平成31年1月21日(月)

■開催場所 協会 3階 会議室

<承認事項>

議題1. 会員動静について

事務局より、配付資料に基づき、前回理事会以降、入会(正会員2社)、退会(正会員1社)により、会員数は676社(正会員594社、賛助会員82社)で正会員1社増の報告があり、承認された。

その他、会員企業の住所・代表者の変更等について報告があった。

議題2. 第7回「安全大会」開催について

議題3. 「県・市行政と愛産協との懇談会」の議事録(校正版)について

議題4. もりの学舎におけるCSR活動協賛について

議題5. 平成31年度表彰について

議題6. (一社)愛知県産業廃棄物協会における平成31年度労働災害防止計画の策定について

議題7. 平成31年度事業計画(素案)について

<報告事項>

1. 産業廃棄物処理に係る「第25回実務者研修会」実施結果について
2. 第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会について
3. エコアクション推進フェアのブース出展結果について
4. 県との共催「平成30年度産業廃棄物排出事業者セミナー」の実施結果について
5. 新年交礼会実施結果について
6. 産業廃棄物処理業者及び排出事業者への一斉立入指導の結果について
7. 豊田市主催「産業廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理講習会」における後援名義の使用について
8. 平成30年度第2回安全衛生委員会の報告につ

いて

9. 愛知県「災害廃棄物処理図上演習」への協力について

10. 協会・委員会・部会・支部・青年部の活動状況について

11. 今後の主要行事

■会員情報の変更

新規入会者(正会員)

<東三河>

- ・(株)環境むかい

〒441-2433 愛知県北設楽郡設楽町川向字向山6番地2

TEL 0536-62-0815 FAX 0536-62-0815

<東三河>

- ・マルカ建設(株)

〒443-0105 蒲郡市西浦町中屋敷17番地

TEL 0533-57-1017 FAX 0533-57-9466

退会者(正会員)

<名古屋>

- ・(株)SKR

名古屋市港区港栄四丁目2番4号SKRビル

社名変更

<賛・県外>

- ・SSI Shredding Systems, Inc.

→ SSI Shredding Systems 株式会社

住所変更

<名古屋>

- ・(株)ダイセキ環境ソリューション

名古屋市港区船見町1番地86

TEL 052-611-6350 FAX 052-611-4022

→ 名古屋市瑞穂区明前町8番18号

TEL 052-819-5310 FAX 052-819-5311

<名古屋>

- ・サンスイサービス(株)

名古屋市緑区鳴海町字母呂後67番地

事務局だより

TEL 052-622-0947 FAX 052-623-7225

→ 名古屋市緑区鳴海町字母呂後6番地

TEL 052-622-0947 FAX 052-623-7225

<賛・県外>

・SSI Shredding Systems (株)

東京都港区港南2-15-1

品川インターシティA棟28階

TEL 03-6717-4283 FAX 03-6717-4281

→ 東京都千代田区大手町1-6-1

SPACES大手町ビル1F

TEL 03-5219-1266 FAX 03-6841-3821

代表者変更

<名古屋>

・中部リサイクル(株)

代表取締役 望月康広(退任)

→ 代表取締役社長 足立 正

<尾張北>

・(株)大草建設

代表取締役 大澤さとみ(辞任)

→ 代表取締役社長 大澤賢志

<賛・県外>

・SSI Shredding Systems (株)

代表取締役 ミッチ横井

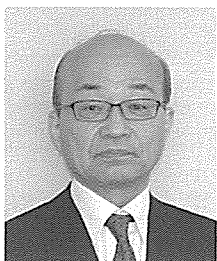
→ 代表取締役 トーマス・ガーニエ

■事務局からのお知らせ

[新職員紹介]

堀部 隆司 専務理事待遇

愛知県環境部で長年環境行政に携り、また昨年度までは公共関与の廃棄物最終処分場(アセック)の専務理事として務め、業界の皆様には多大なご協力を賜りました。この経験を生かし愛産協の発展のお役に立てればと思っています。どうかよろしくお願いします。



平成30年度 第6回理事会

■開催日 平成31年3月15日(金)

■開催場所 協会 3階 会議室

<承認事項>

議題1. 会員動静について

事務局より、配付資料に基づき、前回理事会以降、入会(正会員1社、賛助会員0社)、退会(正会員0社、賛助会員0社)の報告があり、承認され、平成31年3月15日現在での会員数は677社(正会員595社、賛助会員82社)で1社増の報告があった。

その他、会員企業の社名・住所・代表者の変更等について報告があった。

議題2. 平成31年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

議題3. 定款の改定について

議題4. 支部、青年部規程の改定について

議題5. 平成31年度支部・青年部・女性部助成金について

議題6. 平成31年度全産連会長・愛産協会会長表彰候補者等の推薦について

議題7. その他

<報告事項>

1. リスクアセスメント研修会並びに第7回安全大会の実施結果について
2. 第26回実務者研修会の実施結果について
3. 第3回安全衛生委員会の報告について
4. 平成30年度中部地域協議会第2回全体会議の報告について
5. 環境省主催「廃棄物処理に係る意見交換の場」の開催結果について
6. エコアクション21認証取得セミナーの開催について
7. もりの学舎におけるCSR活動について
8. 平成31年度「産業廃棄物処理業許可に係る講習会」の開催日程について
9. 優良認定業者一覧(平成31年2月28日現在)

事務局だより

について

10. 第11回大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会議事要旨について
11. 委員会名簿について
12. 協会・委員会・部会・支部・青年部の活動状況について
13. その他
14. 今後の主要行事

■会員情報の変更

新規入会者(正会員)

<尾張南>

- ・(株)IMAZ
〒475-0067 愛知県半田市乙川畑田町一丁目8番地
TEL 0569-23-1030 FAX 0569-23-1037

社名変更

<賛・県外>

- ・オーエスジー(株)R&Dセンター
→ オーエスジー(株)本野ヶ原センター

住所変更

<尾張北>

- ・(株)丸和商会
日進市藤枝町奥廻間1230番地12
TEL 0561-74-0853 FAX 0561-74-0853
→ 日進市東山六丁目1807番
TEL・FAX 変更無し

代表者変更

<名古屋>

- ・大成運送(株)
代表取締役会長 岡本 誠(ご逝去)
→ 代表取締役社長 安田路信

<名古屋>

- ・(有)名古屋クリーンアップ
代表取締役社長 柴田武彦(代表取締役会長就任)
→ 代表取締役社長 柴田祐一

<尾張西>

- ・(株)宮崎
代表取締役 梅田慎吾
→ 代表取締役社長 梅田慎吾

<尾張南>

- ・(株)エコトラストあいち
代表取締役 池田憲一郎(退任)
→ 代表取締役 松岡万知

<西三河>

- ・山口建材(合)
代表社員 那須峯雄(ご逝去)
→ 代表社員 那須富士夫

<賛・県外>

- ・オーエスジー(株)R&Dセンター 品質保証室
環境保全チーム 林 正樹
→ オーエスジー(株)本野ヶ原センター
品質保証部 加瀬川憲司

■事務局からのお知らせ

[新職員紹介]

本年4月1日付にて職員1名を採用いたしましたのでご紹介いたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。



小野田 敏也

出身地: 愛知県

趣味: ゴルフ

抱負: 早く職務をマスターし、皆様のご期待に応えられるよう努力していく所存です。

[退職]

相宮 良一 環境アドバイザー

本年3月31日をもって退職されました。

4年間お世話になりました。

在職中は公私にわたり数々とお世話になりましたこと厚く御礼申し上げます。加えて皆様方のCSRが大いに向上し、ご発展することを衷心よりお祈り申し上げます。



編集後記

新元号は「令和」と決まりました。

「令和」となった初めての編集後記を担当させていただき、誠に光栄でございます。

私は「昭和」を20年、「平成」を30年、生きました。歳が分かっただけですが、振り返ってみると「昭和」はとてゆつくり時が流れていったような気がします。これは20歳までの若さが時の経過を遅く感じたのでしょうか。それに比べ「平成」の30年間はいろいろな事があり、あっという間に過ぎ去ったように感じます。

50歳からの新元号「令和」は、とてもシンプルで柔らかな印象を受けました。この時代は災害の無い、明るい日本が永く続く時代であって欲しいと心から願います。

今後、元号が新しくなる時代の節目に何度立ち会えるのかわかりませんが、その時代を一生懸命生きようと思います。

末筆ですが、これからも広報編集委員会をご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。(RS)

■広報編集委員

委員長	中野 兼司	(株)東伸サービス
副委員長	黒川 明	福田三商(株)
委員	新美 三良	(有)三洋サービス
〃	近藤 大樹	中部保全(株)
〃	浦田恵美子	(株)コスモス・エコ研究所
〃	伊藤 智織	(株)宮崎
〃	鈴木 隆真	(株)リョクリン
〃	木村 照始	豊田ケミカルエンジニアリング(株)
〃	梅谷 岳志	(有)花丘商事
〃	彦坂 真樹	(株)エムエムアイ
〃	金田 琳	サンコーリサイクル(株)

※趣味倶楽部は、しばらくお休みいたします。

名古屋市農業センター delaふぁーむ しだれ梅

名古屋市農業センターといえば、梅の名所としても有名です。約700本にもものぼる紅梅・白梅のしだれ梅がいっぱいに広がる梅園は、国内有数の規模を誇る梅が見どころです。毎年2月下旬から3月下旬にかけてしだれ梅まつりが開催されます。

(出展：(一社)愛知県観光協会)

表紙のコンセプト

何百年と自然の風雪に耐え、大地に根を張る大樹。

天に向かって大きな枝を張る雄々しい姿に人は圧倒され、遥か昔から巨木には神が宿るといわれ、その時代の信仰の対象となりました。これは地球環境が守られているからこそ、幼い木が巨大樹木にまで成長することができます。

愛知県内には、そのような由緒ある巨木が多数あります。今後この環境を保持するためにも、巨木を通して自然環境を崇める、そのような文化を紹介していきます。

■支部別会員数

平成31年3月15日現在

支 部	正会員	賛助会員	合 計
名古屋支部	185	47	232
尾張西支部	76	5	81
尾張北支部	80	10	90
尾張南支部	52	6	58
西三河支部	107	3	110
東三河支部	73	7	80
県 外	22	4	26
合 計	595	82	677

循環あいち

第111号

平成31年(2019年)4月20日発行

編 集	『循環あいち』広報編集委員会
発 行	一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会
	〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目10番9号 (第8フクマルビル5階)
	TEL(052)332-0346 FAX(052)322-0136
	http://www.aisankyous.com E-mail:info@aisankyous.com
発行人	永 井 良 一
事務局	小 坂 元 信
編集協力・制作	有限会社トピック

〈広告掲載会社名〉

近藤産興 株式会社

株式会社 明輝クリーナー

株式会社 海部清掃

有限会社 トピック

株式会社 ダイセキ

オオブユニティ 株式会社

サトマサ 株式会社

私たちは、地域に密着した環境事業を通じて 循環型社会の創造に貢献していきます。



環境に及ぼす影響をすこしでも
おさえる役割をしています。

廃棄物関連事業

収集運搬

浄化槽

浄化槽の施工・清掃からの維持管理

中間処理

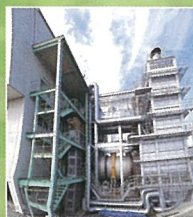
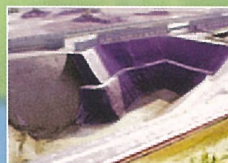
廃液の処理や
廃棄物の焼却からリサイクルまで

- 焼却・破砕
- 中和・脱水
- リサイクル

最終処分場

廃棄物の埋立最終処分場

環境との調和を大切に
した廃棄物埋立処分場です。



日量100tの焼却能力を
持つ環境に配慮した
プラントシステムです。

工場



専門メーカー
技術系商社

水の安全性や建物の補修により
産業に大きく貢献しています。

土木・建築・下水道 関連事業

土木・建築関連

- 一般土木工事
- 路面清掃
- 水路・側溝浚渫工事



交通機関の要としての
地下鉄やトンネルをクリスタル
ライニング工法により浸入水防
止を施しています。

クリスタルライニング工法で下水道施設の腐食、劣化、
浸入水を防ぎ効率的にインフラ価値を維持、向上します。

下水道関連など

- | | | |
|------------------|------------------|----------------|
| ●管更生工事 | ●管渠部分補修工事 | クリスタルライニング工法 |
| ●取付管ライニング工事 | ●TVカメラ調査 | シームレスシステム工法 |
| ●汚水自動バイパスシステム | | エコハイブリットライナー工法 |
| ●防食ライニング工事 | SGICP工法 | 3Sセグメント工法 |
| ●接着補強型止水工法 | FRP光硬化取付管ライニング工法 | FRP内面補修工法 |
| ●水中橋脚ライニング工事 | RPS工法 | |
| ●トンネルおよび地下鉄の止水工事 | XVテレビカメラシステム | |

工場改善関連

- スレート屋根の防水・再生
- ラース工法



防水性に優れたラース
工法によりスレート屋
根の補修などで工場全
体を再生します。

ビルの飲料水を供給する受水槽・高架水槽は、
生活の基盤となる水の安全性を守るため、
定期的な清掃を行っています。

ビルの飲料水を安全にするために。

ビルメンテナンス 関連事業

- 貯水槽清掃
- グリストラップの清掃と処理
- 給排水管清掃



UNITY

オオブユニティ株式会社

〒474-0001 愛知県大府市北崎町駒場88番地

TEL.(0562)47-0535 FAX.(0562)47-0531

- 一般廃棄物処理事業
- 都市環境清掃整備
- 下水道調査・修理
- 産業廃棄物処理事業
- 処理場の管理
- ビル管理清掃
- 工場環境清掃整備

企業理念

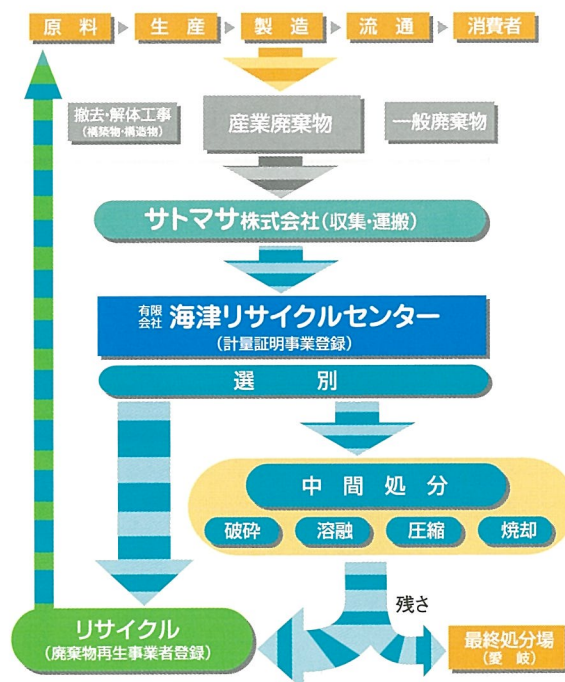
“安全で安心”

豊かな社会と自然環境の創造は
私たちの使命です

サトマサ 株式会社

「廃棄物は貴重な資源」でありその適正な処理は、生活環境および自然環境（環境アセスメント）の保全を図る上で極めて重要なことです。創業精神である「再資源・再利用・再使用・転用化」を目指して、一般廃棄物、産業廃棄物の収集・運搬・処理・処分のトータルシステムの確立に取り組んでおります。

環境保全と循環型社会構築を使命とする企業として私どもは「自らの事業活動で発生する環境負荷の低減」という課題にも、積極的に取り組んでいます。



〈加盟団体〉サトマサグループ

- (一社) 愛知県産業廃棄物協会
- (一社) 岐阜県産業環境保全協会
- (一社) 三重県産業廃棄物協会
- (一社) 遺品整理士認定協会
- (一社) 愛知県清掃事業連合会
- 岐阜県清掃事業協同組合

サトマサ 株式会社

〒496-0045 愛知県津島市東柳原町1-26
Tel.0567-28-3103 Fax.0567-26-4843

有限会社 海津リサイクルセンター

〒503-0643 岐阜県海津市海津町札野434
Tel.0584-53-3103 Fax.0584-53-3104

<http://www.satomasa.co.jp>

E-mail: info@satomasa.co.jp